



Network Video Recorder

オペレーションマニュアル

DR-1204P

Powered by **Direct IP**®

はじめに



本取扱説明書では、(株)IDISの製品であるDirectIP Network Video Recorder（ネットワークビデオレコーダー）の設置および運用のための基本的な説明を記述しています。

本機をはじめてご使用になるユーザーの方はもちろん以前から類似装置を使用してきたユーザーの方でも、ご使用前には必ず本取扱説明書をよく読み注意事項をご確認の上、本機を使用してください。なお、安全上の警告および注意事項は製品を正しく使うことで危険や財産上の被害を防ぐことにつながるため、必ずお守りください。

お読みになった後は、いつでも確認できる場所に保管して下さい。

- 規格品以外の製品を使用することで発生した損傷、または取扱説明書の使用方法に従わずに発生した製品の損傷は、当社で責任を負いかねますので、ご了承下さい。
- DirectIP Network Video Recorder(ネットワークビデオレコーダー)を初めてご使用になるか、使い方がご不明な場合は、設置前や、使用中にかかわらず必ず販売店までお問い合わせ頂き専門のエンジニアのサポートを受けて下さい。
- 機能拡張および故障修理のために装置を分解する場合は、必ず販売店までお問い合わせいただき専門家のサポートを受けて下さい。
- 本機は業務用として電磁波適合登録を済ませた装置ですので、販売者または使用者はこの点にご注意ください。もし、誤って販売または購入した場合には、家庭用のものに交換してください。
- 予期せぬ停電による製品の損傷を防ぐため、UPS（Uninterruptible Power Supply、無停電電源供給装置）の設置をお勧めします。詳細はUPS代理店のお問い合わせください。

安全上の注意事項の表示



	注意 感電の危険があるので開けないで下さい。	
注意： 感電の危険があるのでカバー（後ろカバー）を取り外さないで下さい。 修理は資格のあるサービス担当者へ依頼して下さい。		





この事項を守らない場合、死亡したり重症を負う恐れがある内容です。



この事項を守らない場合、軽症を負ったり財産の損害が発生する恐れがある内容です。

記号	規格	タイプ
	IEC60417, No.5032	交流
	IEC60417, No.5031	直流

本文での表記

アイコン	表記	意味
	注意	本機の機能や動作に関する内容で、必ず熟知しておかなければならない内容です。
	参考	本機を使用する上で役立つ内容です。

著作権

©2018 (株) IDIS

本取扱説明書の著作権は (株) IDIS にあります。

(株) IDIS の許可を事前に得ず、取扱説明書の内容の一部または全部を無断で使用したり、複製したりすることは禁じられています。

本取扱説明書の内容は製品の機能改善などの理由により予告なく変更される場合があります。

登録商標

アイディスとIDISはアイディスの登録商標です。

その他の社名や製品名は当該会社が所有する登録商標です。

本文書の内容は予告なく変更する場合があります。

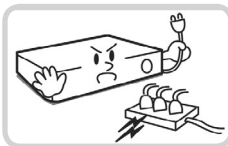
本機には一部のオープンソースを使用したソフトウェアが含まれています。ライセンス政策のソース公開支援可否によって、該当ソフトウェアのソースコードを希望する場合は提供受けることができます。詳細内容はシステム設定 - 製品情報のタップのご確認をお願いします。本製品はUniversity of California, Berkeleyが開発したソフトウェア及びOpenSSL Projectが開発したOpenSSLツールキット用のソフトウェアを含んでおります。また、この製品はEric Young (eay@cryptsoft.com)が作成したソフトウェアとTim Hudson (tjh@cryptsoft.com)が作成したソフトウェアを含んでおります。

安全上の注意事項



警告 この事項を守らない場合、死亡や重症を負う恐れがある内容です。

設置について



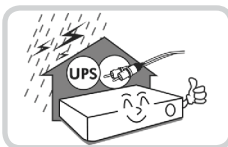
設置する前に必ず本機の電源をOFFにしてください。本機が使用するコンセントは、タコ足配線は止めてください。

異常発熱や火災、感電の原因となります。



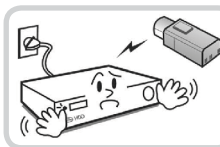
本機の内部に高電圧部分があるため、蓋を開けたり分解・修理・改造したりしないでください。

異常作動により火災や感電、けがの原因となります。



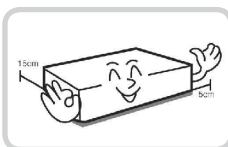
停電や落雷による被害を防ぐため、保護設備を併用してご使用ください。

火災、感電、けがの原因となります。



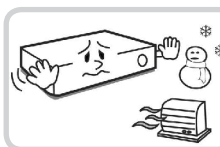
カメラの新規設置および追加工事の前には必ず本機の電源をOFFにし、製品の駆動中には絶対に信号ラインを接続しないでください。

火災、感電、けがの原因となります。



本機の後面には接続のための端子があり、壁に近すぎるところに設置するとケーブルが無理に曲がったり押さえつけられたりして破損する恐れがあります。壁から15cm以上の間隔を開けて設置してください。

火災、感電、けがの原因となります。



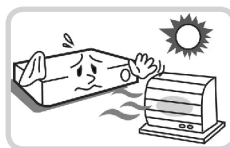
温度が高すぎる場所（40℃以上）や低い場所（5℃以下）、湿度の高い場所には設置しないでください。

火災の原因となります。



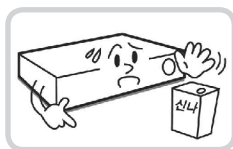
湿気、ホコリ、煤などの多いところには設置しないでください。

感電、火災の原因となります。



直射日光の当たらない涼しい場所に設置し、適正な温度を維持してください。暖房器具など、熱を発生する機器の近くには設置しないでください。

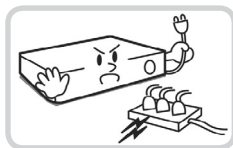
火災が発生する恐れがあります。



設置する場所は、ホコリが溜まらないよう常に清潔を保ってください。製品を掃除するときには、必ず乾いた雑巾で拭き取ってください。水やシンナー、有機溶剤は使用しないでください。

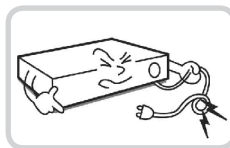
製品の表面を傷つけ、なお、故障や感電の恐れがあります。

電源について



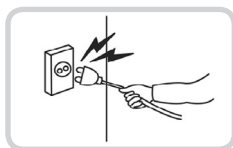
本機が作動するための電源電圧は、電圧の変動範囲が規程電圧の±10%以内である必要があります。電源コンセントは必ず接地するようにしてください。電源ケーブルを接続するコンセントには、ヘアドライヤーやアイロン、冷蔵庫などの消費電力の大きな器具と一緒に使用しないでください。

異常発熱や火災、感電の原因となります。



電源ケーブルを無理に曲げたり、重い物を乗せたりしないでください。

火災の原因となります。



電源ケーブル部分を無理に引き抜いたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。コンセントがゆるい場合は電源プラグを差し込まないでください。

火災、感電の恐れがあります。

アース(接地)は確実に行ってください。電源コードには感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をアースに接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行なってください。

・安全を確保するため、必ず製品同梱の電源コードをご使用下さい。

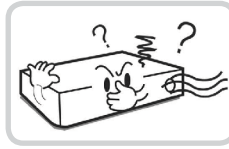
また、この電源コードを他の製品で使用しないで下さい。

使用について



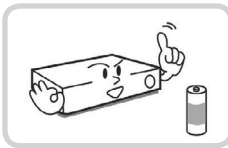
製品に水、または異物が入った場合、すぐに電源プラグを抜いてサービスセンターまでご連絡ください。

故障、火災の原因となります。



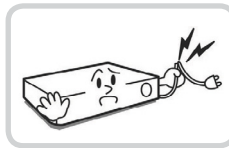
異常な音がしたり臭いがしたりする場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店やサービスセンターまでお問い合わせください。

火災、感電の恐れがあります。



電池は製造者が指定した同一型番また同等品だけを使用してください。使用済み電池は自治体の指示に従って廃棄してください。

爆発の恐れがあります。



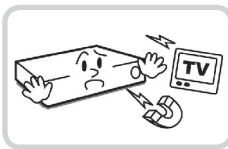
湿気のある床や接地されていない電源延長ケーブル、被覆の剥がれた電源コード、アースをとっていないなど、危険な状況を作らないように注意してください。問題が発生した場合は、販売店や施工業者にお問い合わせください。

火災、感電の恐れがあります。



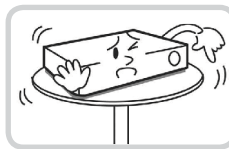
注意 指示事項を守らない場合は、軽傷を負ったり、製品が損傷したりする可能性があります。

設置について



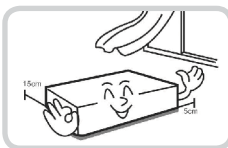
強い磁界や電波のある場所、ラジオやテレビなどの機器に近い場所には設置しないでください。

磁石類や電波のないところに設置してください。



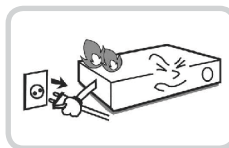
水平で安定した場所に設置し、垂直に立てたり斜めに置いて使用しないでください。

機器が倒れたり落ちたりする場合、故障したり人にけがをさせたりする恐れがあります。



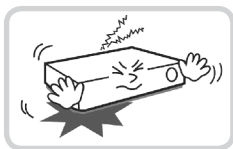
密閉されていない風通しの良い場所に設置し、室内の空気は適切に循環させてください。

故障の原因となります。後面は15cm以上、側面は5cm以上の間隔を置いて設置してください。



ユーザーが電源プラグを簡単に取り外せる場所に設置してください。

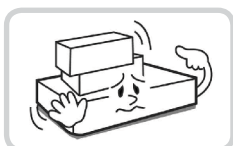
製品に深刻な異常や火災が発生した場合、電源プラグを抜いて危険要素を簡単に取り除けるようにしてください。



強い衝撃や振動のない場所に設置してください。

故障の原因となります。

使用について



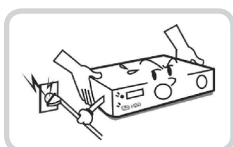
製品の上に重い物を置かないでください。

故障の原因となります。



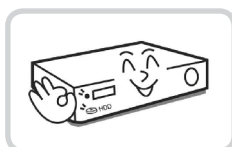
通風のために開いている溝に導電性物体が入らないように注意してください。

故障の原因となります。



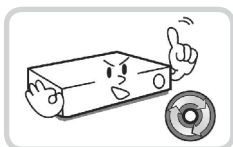
製品の稼働中には電源プラグを抜いたり、製品を動かしたりしないでください。

故障の原因となります。

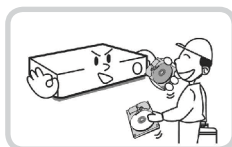


製品前面の録画LEDが点滅し続けていれば、システムとHDDは正常に働いています。

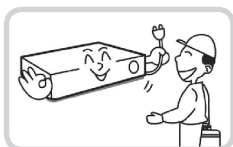
録画LEDが点滅し続けているかどうか随時確認してください。



HDDの空き容量がなくなったときに録画を続けるために設定を変更して録画を続ける場合、既存のデータが削除されるためご注意ください。



データを保存するHDDの寿命が尽きると、保存されている映像データが損傷して復旧できないことがあります。HDDに保存されているデータを再生する場合、画面に乱れが生じたらHDDの寿命が尽きたことを意味するため、早急に販売店やサービスセンターに連絡しHDDの交換を依頼してください。



製品の動作状態を随時確認し、異常が見つかったときはすぐに販売店やサービスセンターにお問い合わせください。

目次

1

第1章－設置	9
ウィザード実行	9
カメラ登録	12
カメラ検索ボタン	13
カメラ表示メニュー	15
カメラリストエリア	16
映像出力エリア	17
適用/キャンセルボタン	18
自己診断の実行	19
カメラ登録モードの実行	19
ログイン	20
リアルタイム監視メニュー	21
拡大機能	23
PTZ制御	23
歪補正制御	24
イベントモニタリング機能	25
カメラロック機能	25
コンテキストメニューの実行	26
画面グループの編集機能	26
ビデオ録画	26
緊急録画	26
オーディオ録画	27
保存された映像の再生	27
全チャンネル再生	27

2

第2章－設定	28
メニューの使い方	28
スクリーンキーボードによる文字列入力	28
テーブルで全列の値を同時に設定する	29
マウスの使用	29
システム設定	29
一般	29
日時/時間	31
使用者	33

セキュリティ	35
HDD	36
モニタリング	36
自己診断	38
製品情報	39
カメラ設定	40
登録	40
一般	42
詳細設定	42
ストリーム	50
オーディオ	52
SD Card	52
アップグレード	53
録画設定	53
一般	53
スケジュール	54
プライベート	56
スマートフェイルオーバー	56
イベント設定	57
ビデオ分析	57
アラーム入力	61
映像信号なし	61
オーディオ検出	62
録画失敗	63
テキストイン	64
カメラシステム	65
顔検出	66
イベントアップロード設定	67
スケジュール	67
FTP	67
装置の設定	68
アラーム出力	68
ネットワーク設定	69
一般	69
WAN (IPアドレス)	71
FEN	73
NetFS	74

RTSP	75
通知設定	76
スケジュール	76
コールバック	76
メール	77
ディスプレイ設定	78
OSD	78
メインモニター	79
状態設定	80
イベント	80
HDD	81

3

第3章-検索	83
タイムラプス検索	83
検索メニュー	83
コンテキストメニュー	86
モーション検索	86
テキストイン検索	88
バックアップ	89
印刷	90
イベントログ検索	91
サムネイル検索	92
重複した時間の映像検索	93

4

第4章 - IDIS Web	94
ウェブ監視モード	96
ウェブ検索モード	98

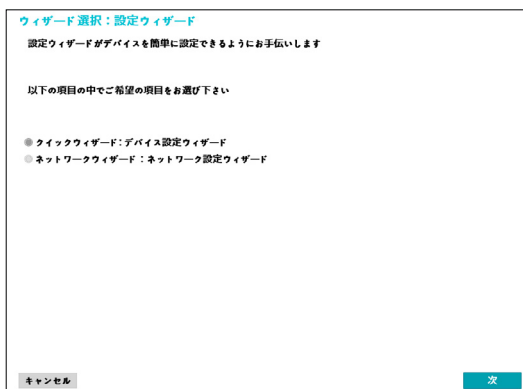
第1章－設置

ウィザード実行

設定ウィザードを利用し、システム運用に必要な初期設定を行うことができます。

- 設定ウィザードは管理者アカウントでログインすると、リアルタイム監視メニューのウィザードメニューから実行できます。

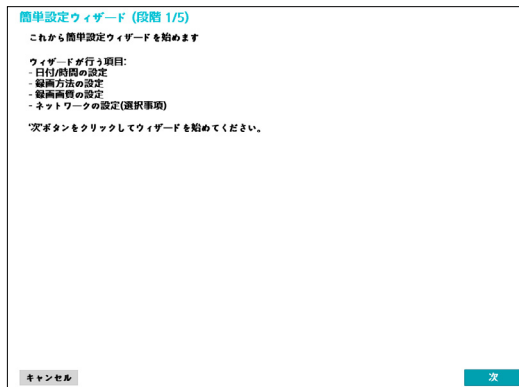
- 1 設定ウィザードのオプションを選択した後、**次**ボタンをクリックして設定ウィザードを起動させます。



- ウィザード画面全体で**キャンセル**を選択すると、変更された設定を取り消してメイン設定メニュー画面に戻ります。

クイック設定ウィザード

- 1 クイック設定ウィザードを始めます。

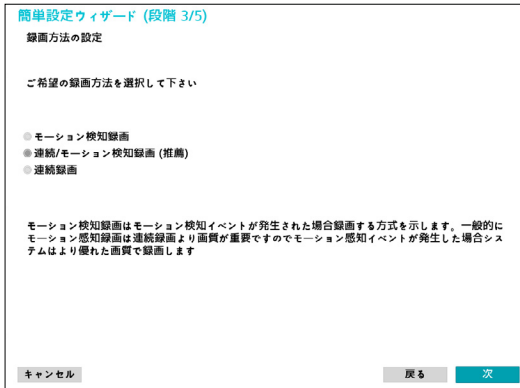


- 2 日時や時間を設定した後、**次**をクリックしてください。



- 変更された日時/時間の設定値は、**次**をクリックすると適用されます。
- 日時/時間設定に関する詳細は [システム設定 ページ 29](#)> [日時/時間](#)を参照ください。

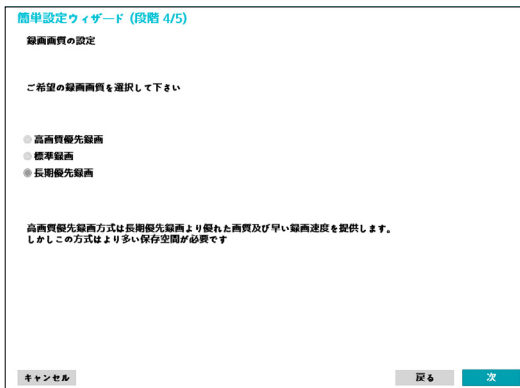
3 設定したい録画方式を選択した後、次をクリックしてください。



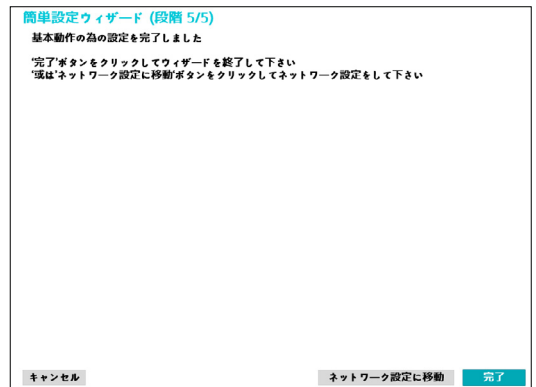
- 選択した録画方式および画質による録画画質は次のとおりです。

	高画質優先録画	標準録画	長時間優先録画
モーション検知録画	最高画質	高画質	標準画質
連続/モーション検知録画	高画質 (連続) / 最高画質 (モーション)	標準 (連続) / 高画質 (モーション)	低画質 (連続) / 標準 (モーション)
連続録画	最高画質	高画質	低画質
インテリジェントコーデック	Off	Off	On

4 設定したい録画画質を選択した後、次をクリックしてください。



5 完了をクリックすると、クイック設定ウィザードが終了します。

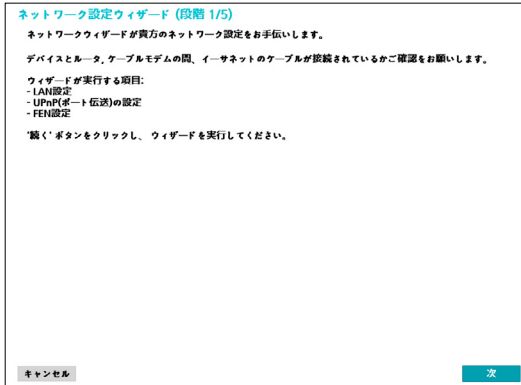


- 高画質を選択するほど、ハードディスクで使用される容量は大きくなります。
- 選択した録画画質によって録画解像度が決まります。
 - 高画質優先録画：最高画質
 - 標準録画：高画質
 - 長時間優先録画：標準

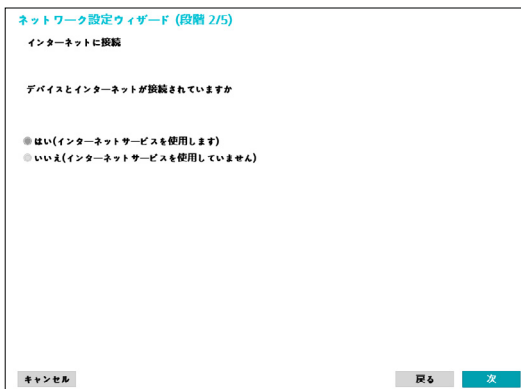
ネットワークウィザード

- クイック設定ウィザードが完了した後に**ネットワーク設定へ**をクリックすると、ネットワーク設定ウィザードを始めることもできます。

1 ネットワーク設定ウィザードを始めます。

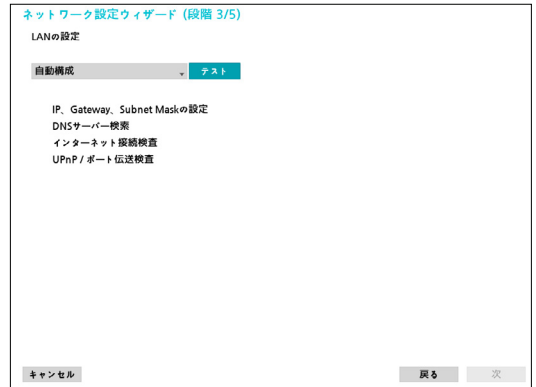


2 システムが外部のインターネットに接続されているかを選択し、**次**をクリックしてください。



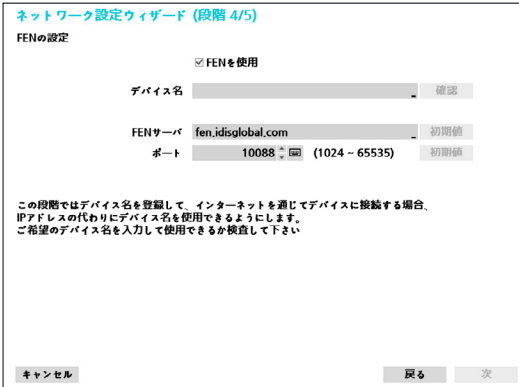
- インターネット接続選択で**いいえ**を選択した場合、テストが完了してから**完了**を押すと、ネットワーク設定ウィザードが終了できます。

3 ネットワーク構成を選択し、**次**をクリックしてください。自動構成または手動構成から設定したいネットワーク構成を選択した後、**テスト**をクリックすると、現在のシステムのネットワーク構成が使えるかどうかを確認できます。



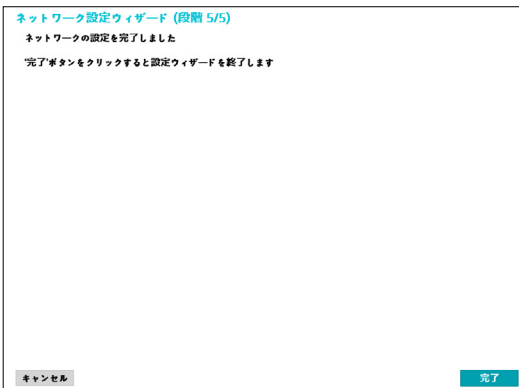
- テストを完了しないと、次の段階には進めません。
- DHCPサーバーのあるネットワークにNVRが接続されている場合、**自動構成**を選択するとIPアドレスやDNSアドレス等のLAN設定値が自動で割り当てられます。**手動構成**を選択すると、IPに関する設定をユーザーが任意でできます。
 - UPnPを支援するデバイスがありません。**というエラーメッセージが表示されたら、使用するIPルータ (あるいはNAT) がUPnP機能に対応しているか、もし対応しているなら使用可能になっているか確認してください。IPルータがUPnP機能に対応しているかは、ご使用中のIPルータのマニュアルをご覧ください。

4 FENサーバーに登録されるNVRの名前を**デバイス名**に入力した後、**確認**をクリックし、入力している名前が使用可能であるか確認できます。



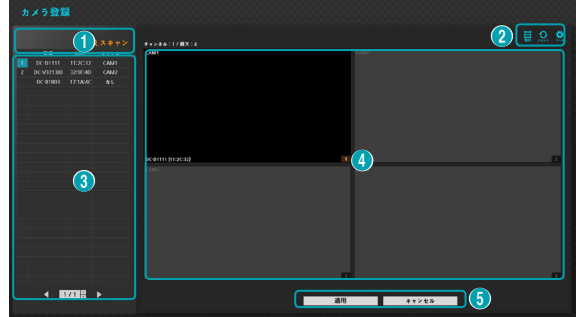
- FENサーバーに登録されるデバイスの名前は、NVRの固有の名前です。IDIS Center(オプション)などのClientからNVRのデバイス名でシステムに簡単に接続することができます。確認後正常に登録されたら、終了が活性化されます。
- NVRの名前を入力しなかったりFENサーバーにすでに登録されている名前を入力したりすると、エラーメッセージが表示されます。
- ユーザーのネットワーク環境によってはFENサービスが作動せず、ネットワークに接続できない場合があります。この場合、ポートを手動で設定する必要があります。ポート設定に対する詳細は、[ネットワーク設定 ページ 69](#)を参照ください。

5 **完了**をクリックして、ネットワーク設定ウィザードを終了してください。



カメラ登録

システムを初めて起動させてから設定ウィザードを終了すると、自動的にカメラ登録モードが起動され、NVRに接続されているカメラが自動で検索されます。

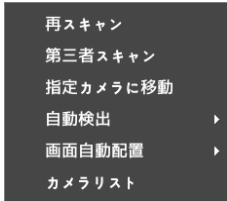


①	カメラ検索ボタン
②	カメラ表示メニュー
③	カメラリストエリア
④	映像出力エリア
⑤	適用/キャンセルボタン

カメラ検索ボタン

自動で感知できなかったカメラや、他社のカメラを検索して登録することができます。

スキャンボタンを押すと、次のようなメニューが表示されます。



再スキャン

自動的に感知されなかったDirectIPカメラを検出することができます。

第三者スキャン

自動スキャンに対応しない他社のカメラを手動で検出します。

- 他社のカメラはプロトコルおよびカメラのモデルによって、一部の動作に対応しない場合があります。



- **プロトコル**：検索したいカメラ（またはビデオエンコーダー）のプロトコルを選択してください。

-
- NVRに対応するプロトコルでも、カメラのモデルによってはデバイス登録ができなかったり、機能が使えなかったりする場合があります。対応するカメラのモデルに関する詳しい内容は、NVRの代理店までお問い合わせください。
 - 本システムは【アイディスカメラ】との組合せに最適化されています。他社のカメラを登録すると、Video設定がシステムの性能を超える場合、録画性能が保障できず、特定の機能が制約される場合があります。この場合、設定変更により、最適化した性能を発揮できるように変更してください。

- **モード**：検索モードを選択してください。

- **自動検索 (LAN)**：ローカルネットにあるカメラを検索します。**自動検索 (LAN)** モードで検索出来ないカメラは**IPアドレスで検索**してみてください。
- **IPアドレス**：カメラのIPアドレスを入力して検索します。2つ以上のカメラを登録する場合、IPアドレスの範囲を入力して一度に検索することもできます。IPアドレス設定時のポート設定を選択すると、遠隔監視に使用するポート番号を設定することができます。カメラのネットワーク接続を設定する時、DHCPを使用しないことをお勧めします。DHCPを使用する場合、外部ネットワーク環境の変化によって、デバイスが正しく接続されないことがあります。

- **高機能設定**：カメラがネットワークに接続されていながらも検索されない場合、本設定を使用します。本設定で、NVR後面パネルにあるVIDEO INポートに対するNVR側のネットワーク設定を変更することができます。本設定を使用する前には、まずカメラのネットワーク設定を確認してください。

- 本設定がWAN設定と衝突を起こしてはなりません。WAN設定に対する詳しい内容は、**WAN (IPアドレス) ページ 71**をお読みください。



- **リンク - ローカルアドレス**：デフォルト（高機能設定は無効です）。

- **手動**：IPアドレスをはじめとし、ネットワーク設定を手動で行うことができます

- **DHCPクライアントモード**：DHCPサーバーからIPアドレスをはじめとするネットワーク設定が自動で割り当てられます。

- **DHCPサーバー**：NVRをDHCPサーバーで動作します。同様のネットワークにDHCPサーバーがあるか確認します。DHCPサーバーがない場合、本オプションを選択することができます。NVRがDHCPを利用し、VIDEO INポートに接続されているカメラのIPアドレスを自動で割り当てます。IPアドレス範囲は、**10.10.0.128 ~10.10.254.254** です。DHCPサーバーモードでは、VIDEO INポートがNVRとカメラ間の単一ネットワークで接続されているため、ゲートウェイには何の意味もありません。サブネットマスクは255.255.0.0(Class B)です。

- 同じネットワーク上に複数のNVRが存在する場合、その中の一台だけをDHCPサーバーとして設定することができます。もし、複数のDHCPサーバーが作動すると、カメラに重複したIPが割り当てられることがあります
- 10.10.0.1~10.10.0.127のIPアドレスはNVRシステムに割り当てられているため、使用しないことをお勧めします。

1 スキャンボタンを押して検索してください。

- VIDEO IN端子に接続されているカメラのみ検索・登録できます。

2 検索されたカメラをリストから選択した後、**カメラ追加**を選択すると、デバイスログインウィンドウが表示されます。

3 登録したいカメラの**ユーザーID**と**パスワード**を入力します。

指定カメラに移動

カメラリストエリアに存在するカメラのリストからカメラのMACアドレスを使用し、そのカメラにフォーカスを自動的に移動させます。

自動検出

リアルタイム監視モードで作動します。登録されていないDirectIPカメラがNVRに接続されている場合、これを自動的に検出してユーザーに知らせてくれます。

画面自動配置

検出されたカメラを映像出力エリアに自動的に配置するときに使用されます。

カメラリストエリア

カメラ登録

	② 型番	③ MAC	④ スキャン タイトル
① 1	DC-D1223WHR	0F:D4:B6	CAM1
2	DC-B1203	12:52:44	CAM2
3	DC-D1223XW	13:B6:E9	CAM3
4	DC-S1263WH	12:6D:90	CAM4

新規登録	2	DC-V3213XJ	32:9F:4F	CAM2
新規登録	3	DC-T3833HRX	32:9F:57	CAM3
		DC-B1803	17:1A:4C	なし
他NVR(登録X)		MNC5270ED	2F:4E:5D	なし
他NVR(登録X)		DC-D3233HRX	2B:FD:F9	なし

- ② **型番** : カメラのモデル名が表示されます。
- ③ **MAC** : カメラのMAC情報のうち、後ろ6桁の数字が表示されます。
- ④ **タイトル** : カメラの名前が表示されます。映像出力エリアに変更した名前が適用されます。

カメラリストの各項目にマウスの右ボタンをクリックすると、下記の機能が実行できます。

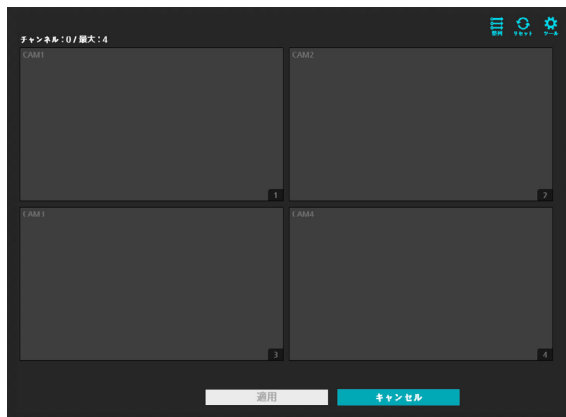
- **カメラ追加/削除** : リストにあるカメラを追加したり、追加されたカメラを削除したりすることができます。カメラの追加オプションが登録されている場合には無効です。
- **認証** : カメラにログインするための情報を入力します。DirectIPカメラとIDISカメラは別途のログインが必要ないため、省略されます。IDIS プロトコルの場合、パスワードが設定されていないと非活性化されます。

- ① **画面位置/登録可否** : 映像出力エリアにあるカメラの画面位置が表示されます。登録可能なカメラは青い背景で表示され、すでに登録済みのカメラは灰色の背景で表示されます。他のNVRに登録されているカメラは黒い背景で表示されます。

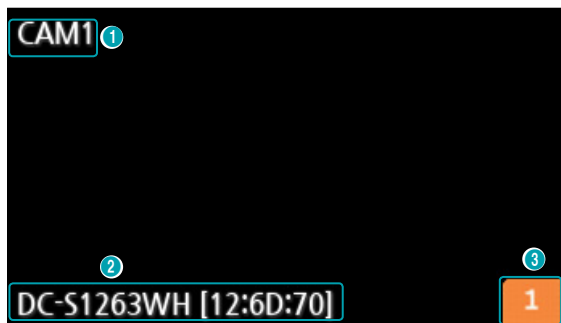
映像出力エリア

映像出力エリアにマウスの左ボタンをクリックすると、分割画面表示と単一画面表示に切り替えることができます。

映像出力エリアに表示されるカメラ画面はマウスをドラッグして位置を調整することができます。画面の左上には、現在登録されているカメラのチャンネルの数やNVRに登録可能な最大チャンネル数が表示されます。



カメラ画面の構成



① カメラタイトル

カメラのタイトルを表示します。カメラのタイトルのところでマウスの左ボタンをクリックすると、カメラのタイトルを編集することができます。



② MACアドレス

NVRに登録されていないカメラの場合、カメラのモデル名とMACアドレスが表示されます。

③ 画面の位置/登録情報

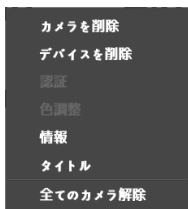
NVRに登録されていないカメラの場合、オレンジ色が点滅します。



- NVRにすでに登録されているカメラは、画面の下段に情報が表示されず、**画面の位置/登録情報**の背景が黒色で表示されます。
- 他のNVRに登録されているカメラは**画面位置/登録情報**の背景色がオレンジ色に固定され、画面は灰色に表示されます。

実行メニュー

映像出力エリアでマウスの右クリックボタンをクリックすると、実行できるメニューが表示されます。



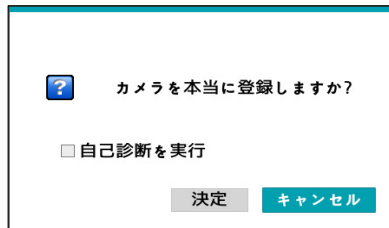
- **カメラを削除**：登録されているカメラを削除します。
- **デバイスを削除**：登録されているエンコーダーを削除します。
- **認証**：カメラにログインするための情報を入力します。
- **色調整**：カメラの色合いを調節します。
- **情報**：カメラの基本情報表示を表示します。
- **タイトル**：カメラのタイトルを編集することができます。
- **全てのカメラ解除**：登録されているカメラをすべて削除します。

カメラの追加や削除は、マウスのドラッグ&ドロップ機能で行うことができます。

適用/キャンセルボタン

カメラ登録モードでのすべての変更事項をNVRに登録するためには、**適用**ボタンを押してください。

適用ボタンを押すと、次のようなメッセージウィンドウが表示され、自己診断を実行するか、しないかを選択できます。

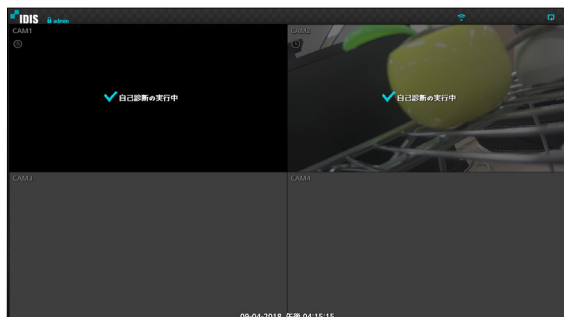


キャンセルボタンを押すと変更内容を取り消し、カメラ登録モードを終了します。

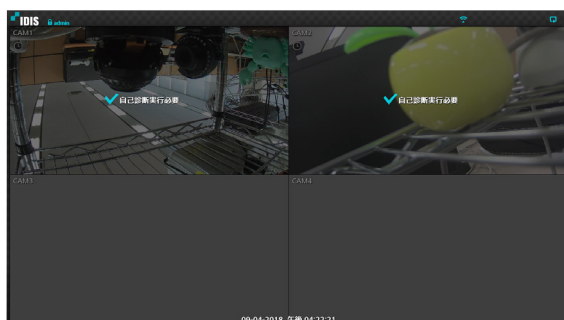
他のNVRに登録されているカメラは登録できません。

自己診断の実行

自己診断を選択してNVRのカメラ登録を完了すると、自動的に自己診断を実行します。自己診断を実行中の場合、**自己診断の実行中**というメッセージが表示されます。

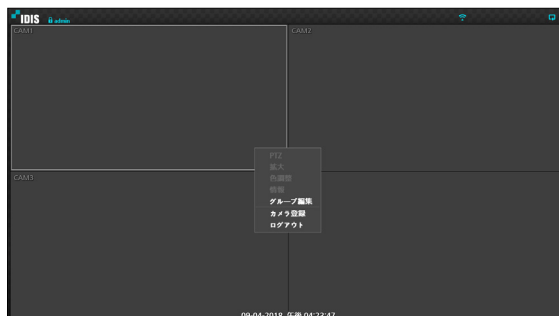


自己診断に失敗した場合、**自己診断実行必要**というメッセージが表示されます。自己診断に失敗した場合、手動で自己診断を実行します。自己診断に関する詳しい内容は、[自己診断の実行 ページ 19](#)をお読みください。

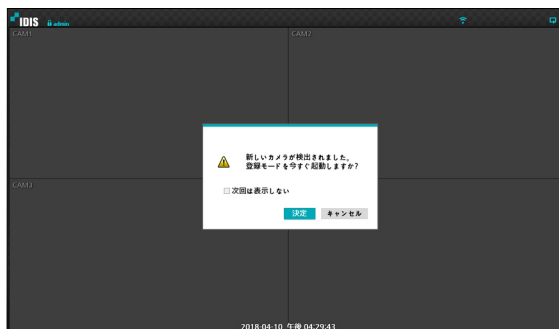


カメラ登録モードの実行

監視モードでマウスの右ボタンをクリックし、**カメラ登録**をクリックしてください。



リアルタイム監視モードで自動感知設定がONになっている場合、新規カメラが感知されるとメッセージが表示されます。



決定を押すと、カメラ登録モードに入ります。

- カメラ増設の予定がない場合、自動感知機能をOFFに設定しておくことをお勧めします。


ログイン

環境設定や検索など、NVRの様々な機能を使用するためには、その権限を有するユーザーでログインしなければなりません。

- リアルタイム監視メニューでマウスを利用して⑥（ログイン）を押してください。

- ユーザーを選択してパスワードを入力したら、**決定**ボタンを押してください。



- adminアカウントには初期パスワードがないので、adminアカウントを選択し、パスワードを入力せずログインします。
- パスワードを設定せずシステムを使用するのはセキュリティ上好ましくないため、なるべくパスワードを指定して使用してください。パスワードを指定せずに使用すると、警告メッセージが表示されます。
- マウスでパスワード入力項目の右側にある  ボタンを押すと、スクリーンキーボードでパスワードを入力することができます。スクリーンキーボード使用に関する内容は、[スクリーンキーボードによる文字列入力 ページ 28](#)を参照ください。

- リアルタイム監視メニューにおいてマウスで⑥（ログアウト）を押すと、ログアウトすることができます。また、リモコンのEnterボタンを押すことができます。リモコンのEnterボタンを押してリモコンのメニューボタンを押すと、コンテキストメニューが実行されます。方向キーを利用してコンテキストメニューのログアウトを押すとログアウトすることができます。

パスワード探し

パスワードを忘れた場合**パスワード探し**ボタンを長く押しすと、新しいパスワードが設定できます。

- ユーザー登録の段階で設定したユーザーおよび登録した電子メールを入力した後、**認証番号取得**ボタンを押してください。

- 取得した認証番号を入力し、**決定**ボタンを押してください。



- 左下の「？」ボタンを押すと表示されるパスワード設定に関するガイドラインをお読みください。
- パスワード設定は必ずスクリーンキーボードで入力してください。
- パスワード探し機能を電子メールで利用して使用するためには、SSL/TLSに対応するメールサーバーを使用できるように設定する必要があります。[73ページのメール](#)をお読みください。

リアルタイム監視

リアルタイム監視メニュー

マウスポインタを画面上段に合わせてリアルタイム監視メニューが表示されます。



①	ログイン/ログアウト	②	レイアウト	③	前画面グループ、 次画面グループ	④	ディスプレイ
⑤	フリーズ	⑥	アラーム	⑦	緊急録画	⑧	自動切替
⑨	カメラ選択	⑩	検索モード	⑪	設定	⑫	ウィザード
⑬	ステータス情報ウイ ンドウ						

① ログイン/ログアウト

ログインまたはログアウトができます。ログインされている場合、そのIDが表示されます。ログアウトされている場合は、Loginが表示されます。

② レイアウト

画面のレイアウトを単一画面、3画面(Corridor Format)、4画面に切り替えます。3画面(Corridor Format)を使用するためには、ディスプレイ設定-メインモニターの**コリドールフォーマット**を選択しなければなりません。

③ 前画面グループ/次画面グループ

現在の画面グループから前画面グループ、または次画面グループに移動します。

④ ディスプレー

- **OSD(On Screen Display)** : OSD機能を有効化、または無効化します。
- **全体画面** : 全体画面モードで映像を表示します。
- **比率維持** : カメラから伝送される映像のオリジナル比率を維持するかどうかを選択します。

⑤ フリーズ

画面が停止されます。再び**フリーズ**を選択するとフリーズ状態が解除されます。


⑥ アラーム


アラームが作動している間、内部ブザーを含むNVRの出力をリセットします。

⑦ 緊急録画

緊急録画機能を使用/解除します。

⑧ 自動切替

リアルタイム監視モードでを選択すると他のチャンネルを連続的に示して自動切替モードに変わります。

自動切替を止めたい時はもう一度**自動切替**ボタンを押してください。自動切替中には、画面の右上のシステムステータス情報のところにが表示されます。

フル切替

監視モードの全体画面および画面分割ですべてのチャンネルが順次に切り替わって表示されます。フル切替機能を使用するためには、ディスプレイ設定-メインモニターの自動切替設定で**フル切替**を選択する必要があります。

Ex> 4分割画面でフル切替



- フル切替での動作中には、画面右上のシステムステータス表示部分には自動切替の表示の隣にページ番号が表示されます。
- 次の場合はそのページをスキップします。
 - ページを構成しているすべてのカメラが無効状態の場合
 - 映像信号がない場合
 - ロックされたカメラの場合
 - カメラにアクセスできる権限のないIDでログインした場合

⑨ カメラのメニュー

選択したカメラを単一画面でみることができます。

⑩ 検索モード

- タイムラプス検索**: 検索モード>タイムラプス検索を選択すると、保存されたデータを録画テーブルから検索または再生することができます。
- イベントログ検索**: 検索モード>イベントログ検索を選択すると、イベントログを検索し保存されたイベントを検索または再生することができます。
- サムネイル検索**: 検索モード>サムネイル検索を選択すると、保存されたイベントを精密な単位で検索することができます。

⑪ 設定

設定メニューに入ることができます。

⑫ ウィザード

ウィザードを起動し、システム運営に必要な初期設定を簡単に行うことができます。


⑬ ステータス情報

システムのステータスをアイコンで表示します。

ステータス情報ウィンドウ

	遠隔プログラムでNVRに接続した場合、このアイコンが表示されます。
	NVRとcamera間がオーディオ接続されている場合、このアイコンが表示されます。
	NVRとPC間がオーディオ接続されている場合、このアイコンが表示されます。
	NVRとcamera間及び、NVRとPC間がオーディオ接続されている場合、このアイコンが表示されます。
	映像拡大機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。
	DirectNDCサービスでNVRに接続した場合、このアイコンが表示されます。
	フリーズ機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。
	自動切替機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。
1/4	全体画面モードではない場合、現在の画面が属しているグループを表示します。
	イベントモニタリング中の場合、このアイコンが表示されます。
	HDD録画状態を表示します。上書の場合、このアイコンが表示されます。上書を使用しない場合、残っているHDDの容量が%で表示されます。

拡大機能

リアルタイム監視モードでカメラを右クリックした後、**拡大**ボタンを押してください。ズームインしたい位置を設定する画面が表示されたら、マウス右クリックして拡大することができます。映像拡大機能を使用する場合、システムの右上のステータス表示ウィンドウに拡大  アイコンが表示されます。




- 全体画面モードでは、拡大するカメラを選択するとき現在の画面が自動的に選択されます。

PTZ制御

リアルタイム監視モードでカメラを右クリックした後、表示されるコンテキストメニューからPTZを選択してください。



選択されたカメラのOSDウィンドウで  アイコンが点滅します。

マウスをドラッグして方向を移動することができます。

マウスのホイールで拡大/縮小ができます。



- PTZカメラを調整するためには、**PTZ制御権限**を有するユーザーでログインしなければなりません。
- 監視画面上でPTZカメラがない場合にはメッセージウィンドウが表示されます。
- PTZモードを終了するためには、もう一度マウス右クリック後、PTZを選択してください。

歪補正制御

監視モードでカメラを右クリックした後、コンテキストメニューから歪み補正を選択すると、当該カメラのOSDウィンドウのDアイコンが点滅します。マウスをドラッグして方向を移動することができます。**カメラ > 詳細設定**からビデオ項目を選択して種類およびモードを選択することができます。

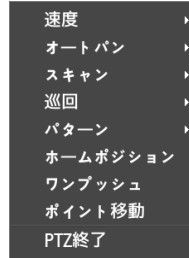


- 当該機能は魚眼映像カメラの場合にのみ対応しています。
- オリジナルモードの場合、歪み補正機能に対応していません。

詳細設定

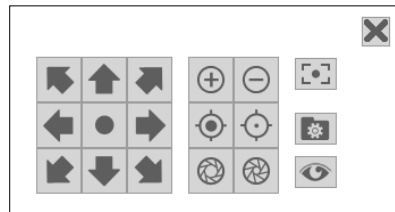
PTZモードでマウスの右クリックすると、下記のようなPTZの詳細メニューが表示されます。**速度**、**オートパン**など、そのPTZカメラが対応する拡張機能が使用できます。

また、ポイント移動を利用し、ユーザーがマウスでクリックした地点にPTZカメラを移動させる機能を使用することができます。そのPTZカメラが対応しない機能は非活性化されます。




- マウスを使うともっと簡単にPTZカメラを調整することができます。マウスの左ボタンでドラッグしてカメラを動かすことができ、マウスのホイールで映像を縮小/拡大することもできます。

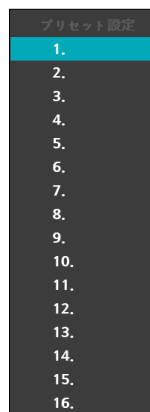
PTZモードでマウスポインタを画面の下段にあわせると、PTZのコントロールボックスが現れます。




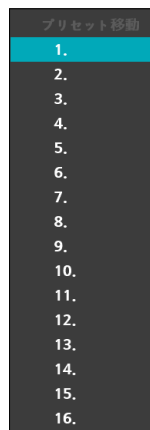
- PTZカメラをNVRで使うためには、カメラが対応するPTZプロトコルを正しく設定する必要があります。
- ツールボックスウィンドウをドラッグして位置を変えることができます。
- アイコンをクリックするとツールボックスが消えます。

PTZプリセットを設定する


PTZモードで  を選択すると、**プリセット設定**設定ウインドウが表示され、現在の位置をプリセット番号を指定して保存することができます。



PTZモードで  を選択すると、**プリセット移動**設定ウインドウが表示されたら、プリセット番号を選択して、その番号に保存された位置にPTZカメラをすぐに移動させることができます。



イベントモニタリング機能

イベントが発生すると、イベント連動録画が始まるカメラ画面へ自動的に切り替わり、右上のシステムステータスエリアに  アイコンが表示されます。イベントモニタリング機能を使用するには、**ディスプレイ設定>メインモニターでイベントモニタリング**を設定してください。イベントモニタリングは、**出力時間**にて設定した時間だけその機能が維持されます。その後、新しいイベントが発生しなければ前画面に戻ります。**出力時間**が終了する前に**画面分割**ボタンを押したり、**カメラ番号**ボタンを押したりすると、通常監視画面に切り替わります。

カメラロック機能

ユーザーがログインしていないか、ロックされたカメラを表示する権限が無いユーザーでログインした場合、指定したカメラを表示しないように制限します。

カメラ設定>一般で特定のカメラを**隠し1**または**隠し2**に設定することができます。

- **隠し1**：監視画面で指定したカメラの映像は見えないが、そのカメラのタイトルや現在の状態を表すアイコンは通常通りに表示されます。
- **隠し2**：指定したカメラの映像が映らず様々な状態を表すアイコンも表示されません。



ロックされたカメラを表示する権限を持つユーザーがログインした場合、カメラが**隠し1**や**隠し2**に設定されていてもロック機能は作動せず映像や状態アイコンがすべて表示されます。

■ コンテキストメニューの実行

リアルタイム監視モードでマウスの右クリックでコンテキストメニューウィンドウが表示されます。

- **PTZ** : PTZ制御機能が行えます。
- **歪補正** : 魚眼カメラ映像をDeWarpすることができます。
- **拡大** : 映像を拡大することができます。
- **オーディオ** : オーディオ出力をON/OFFできます。(この機能は単一画面のみに対応します。)
- **色調整** : 色を調整したいカメラのチャンネルを選択すると色調整ウィンドウが表示されます。各カメラの輝度、コントラスト、彩度、色相が調整できます。
- **自己調整ビデオモード** : 映像プリセットをナチュラル、鮮やかさ、ノイズ減少の中から選ぶことができます。
- **情報** : ネットワークカメラチャンネルを選択すると、選択したチャンネルに関するデバイス情報が確認できます。
- **グループ編集** : グループ編集では分割画面上にカメラの位置を変更できます。
- **カメラ登録** : カメラ登録モードを実行します。
- **ログイン/ログアウト** : ログインまたはログアウトができます。

■ 画面グループの編集機能

画面グループ編集モードは監視および検索モードの画面分割で望みの位置にカメラ映像を並べ替える機能です。

- 1 画面分割でコンテキストメニューの**グループ編集**を選択してください。編集するカメラ画面の縁に黄色いボーダーラインが表示されます。マウスで他の画面を選択することができます。
- 2 黄色いボーダーラインが表示された画面でマウスの右クリック後、カメラを選択してください。選択されたカメラがその画面位置に移動します。各画面にカメラ番号を並べ替えることができます。
- 3 マウスの右クリック後、**グループ編集終了**を選択し、グループ編集モードを終了することもできます。


画面グループ編集モードは連続動作がない場合およそ15秒ほどで終了します。


ビデオ録画

第2章接続編を参考にし、NVRを正しく設置すると録画が始まります。

ビデオ録画設定に関する内容は**録画設定 ページ 53**を参照ください。

■ 緊急録画

リアルタイム監視メニュー、または検索メニューで緊急録画  アイコンを選択すると、登録されているすべてのカメラで緊急録画を始めます。

緊急録画を中止するには、もう一度緊急録画  アイコンを選択してください。録画設定 > 一般で緊急録画時間が設定されている場合は、設定された時間だけ緊急録画をしたあと自動的に終了します。詳しい内容は**録画設定 ページ 53**を参照ください。

- 緊急録画はユーザーが設定した録画スケジュールに関わらず行われます。
- **録画設定-一般**で緊急録画のために設定されたビデオプロファイルで録画されます。

録画モードが上書状態ではない場合、HDDが100%になると緊急録画は実行されません。

オーディオ録画

録画設定>一般でオーディオ録画設定がされている場合、カメラのビデオが録画されるとき音声も録音されます。詳しい内容は[オーディオ ページ 52](#)、[録画設定 ページ 53](#)を参照ください。



設置地域内の法律が録音を許可しているか確認してください。法律違反による責任はすべてユーザーにあります。

保存された映像の再生

マウスを使用して、映像を再生することができます。



- 保存された映像を再生するためには、検索権限を有するユーザーでログインする必要があります。
- 検索モードでの初期再生位置は、前回最後に再生した部分または保存された部分のいちばん最後の部分になります。
- 録音されたオーディオの再生は、全体画面で再生したときのみ可能です。
- ロック設定がされたカメラがある場合、ロック機能が再生モードでも同様に適用されます。

全チャンネル再生

- 1 リアルタイム監視モードでマウスポインタを画面上段に合わせてください。
- 2 検索モード▶アイコンを選択し、**タイムラプス検索**、**イベントログ検索**または**サムネイル検索**を選択してください。
- 3 録画データ検索またはイベントログ検索モードに切り替わります。

データ検索に関する詳しい説明は[第3章-検索 ページ 83](#)をお読みください。

第2章－設定

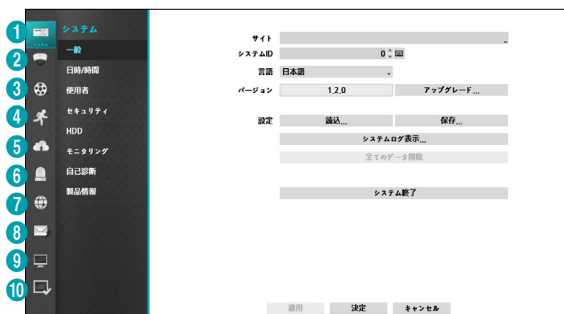
メニューの使い方

第3章設定編で取り扱う内容のすべては、メニューの使い方をご参照ください。

設定メニューに入るためには、メニュー設定の権限を有するユーザーでログインする必要があります。

- 2FA機能を使用するとき、登録されたモバイルデバイスの認証をしないと、設定メニューに入ることができません。[Use 2FA ページ 35](#)を参照ください。

- リアルタイム監視画面でマウスを利用してリアルタイム監視メニューで設定を選択してください。



1	システム設定
2	カメラ設定
3	録画設定
4	イベント設定
5	イベントアップロード設定
6	デバイス設定
7	ネットワーク設定
8	通知設定
9	ディスプレイ設定
10	状態設定

- マウスの左ボタンでクリックしてください。
- 設定変更が終わったら、**適用**または**決定**ボタンを押して変更した設定を保存してください。

- 設定ウィンドウ左下の**初期値**ボタンを選択すると、設定値が初期値に変わります。

スクリーンキーボードによる文字列入力

マウスをクリックして文字を入力します。



	大文字と小文字を選択します。
	カーソルの前の文字を削除します。
	カーソルの後ろの文字を削除します。
	文字列キーボード入力を変更します。

テーブルで全列の値を同時に設定する

カメラ設定 ページ 40のようにメニューがテーブルに構成されている項目の場合、一部はテーブルのタイトル値を変更することができます。この場合タイトル値を変更すると、同じ列の全項目の値を同時に変更することができます。

マウスの使用

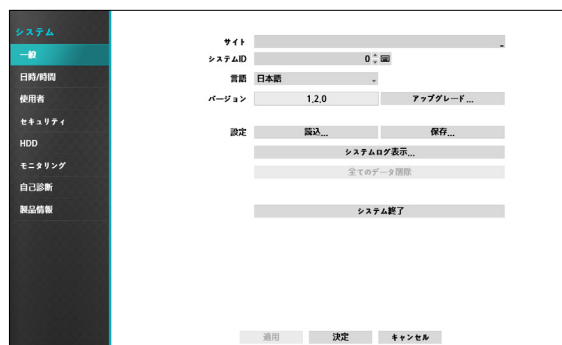
マウスを使えば、容易に環境設定が行えます。項目をクリックして素早く選択でき、スクロールバーのあるメニューではマウスのホイールを回してメニューを上下に移動できます。数字を増減させるときも、マウスのホイールを回して数字を設定することができます。

システム設定

設定メニューの使い方は [メニューの使い方 ページ 28](#) を参照ください。

一般

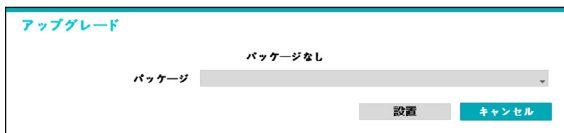
システムの一般的な内容を設定します。



- **サイト**：装置の設置場所に対する説明が表示されます（初期値はありません）。スクリーンキーボードを利用して内容を変更することができます。
- **システムID**：他のNVRと接続されているとき、本機を区別するとき使用します。
 システムIDの初期値は0であり、0～99まで変更して使うことができます。
- **言語**：対応できる言語を選択して使うことができます。

- **バージョン**：ソフトウェアのバージョンを表示します。
- **アップグレード**：システムアップデートを行います。NetFS機能を使用中の場合にアップデートを押すと、**USBメモリ**または**NetFS**から選択することができます。NetFSを使用しない場合には、USBメモリだけを選択することができます。**USBメモリ**を選択するとUSB検索ウィンドウが表示され、アップデートパッケージファイルを選択してシステムをアップデートすることができます。**NetFS**を選択すると、登録されているFTPサイトリストからFTPサイトを選択します。アップグレード後にはNVRが自動で再起動します。

- ☑ 2FA機能を使用するとき、登録されたモバイルデバイスの認証をしないと、アップグレードができません。[Use 2FA ページ 35](#)を参照ください。
- アップグレードを失敗すると失敗メッセージが表示されます。失敗メッセージは[インストールマニュアル](#)を参照ください。



- **設定**：現在NVRの設定を保存したり、以前に保存した設定を読み込んだりすることができます。NetFS機能が使用中の場合、登録されているFTPサイトからNVRの設定を読み込んだり、保存したりすることができます。

- **読み込**：ネットワーク設定も一緒に読み込むか選択することができます。**ネットワーク設定を含む**を選択しなければ、現在のシステムのネットワーク設定は変更されません。

- ☑ **設定読み込**を実行しても、下記の設定値は変更されません。
 - 時間に関する設定値（日時/時間、標準時間帯、サマータイム）
 - カメラに関する**詳細設定**の設定値
 - カメラに関する**ストリーム**設定値(保存したときにカメラと解像度が違う場合に限る。)

- **エクスポート**：USBに接続されている保存デバイス、またはNetFSに登録されているFTPサイトに設定ファイルを保存します。**ファイル名**を指定して、現在の設定を保存することができます。

- ⚠ USBフラッシュメモリはFAT32フォーマットのみに対応します。

- **システムログ表示**：最近の5,000件までのシステムログを検索することができます。システムログの種類は[インストールマニュアル](#)を参照ください。遠隔接続したログの場合、右側に**品**アイコンが表示されます。画面下の**エクスポート**を押すと、ファイル名を指定してUSBに接続されている保存デバイスまたはNetFSに保存することができます。



- ☑ 保存されたシステムログ.txtファイルの内容を確認するためには、適切な文字コードに設定して固定幅のフォントを使用する必要があります。

- **全てのデータ削除**：録画されている全てのデータを削除します。**全てのデータ削除**を押すとダイアログボックスが表示され、そこから**削除**を押すと録画されている全てのデータが削除されます。



- **全てのデータ削除**を実行する前に、削除しても良いデータであるか必ず確認してください。一度削除されたデータは復元できません。

- **全てのデータ削除**をしてもシステムログは残り、**全てのデータ削除**というシステムログが追加されます。

- **システム終了**：システムを終了します。ダイアログボックスが表示されたらもう一度**システム終了**を押してください。

日時/時間



- **日付**：日付を変更することができます。
- **時間**：時間を変更することができます。
- **日付形式/時間形式**：日付や時間の表示方式を変更することができます。
- **標準時間帯**：標準時間帯を設定することができます。



- 画面に表示されている地図にマウスや方向ボタンで標準時間帯を選択することができます。

- **サマータイム使用**：サマータイムを適用できます。

- **タイムサーバー**：タイムサーバーの設定を行うと、NVRの時刻を定期的に自動で修正することができます。



- 1 **自動調整**項目を選択してください。
- 2 **タイムサーバー**のIPアドレスまたはドメイン名を入力するか、★を選択して登録されたタイムサーバーのリストから適切なタイムサーバーを選択してください。
- 3 サーバーと時間を同期化する**調整間隔**を選択してください。
- 4 **決定**ボタンを押して設定を終了してください。

- ネットワーク-WAN**設定で**DNSサーバー**を設定した場合、タイムサーバー項目にタイムサーバーのIPアドレスの代わりにドメイン名を入力することができます。
- **サーバーとして動作する**を選択すると、本機がタイムサーバーとして動作することになり、他のデバイスがこのサーバーの時間情報を使って同期化することができます。

- **休日**：休日を追加/削除できます。設定された休日には、録画スケジュール設定で設定した休日のスケジュールに従って録画されます。

- 1 設定ウィンドウの下の**+**ボタンを選択してください。
- 2 休日に指定したい日付を入力してください。
- 3 **決定**ボタンを押して設定を終了してください。



- 各項目の右側の✕アイコンを押すと、設定された休日を削除することができます。

使用者

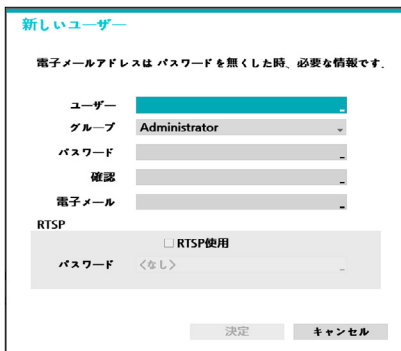
ユーザーを登録し、権限を与えて管理させることができます。



- 1 **+グループ**を押してグループの名前を入力してください。グループ名は最大15文字まで入力できます。
- 2 選択したグループの権限を選択してください。設定できる権限の種類は**グループ ページ 34**を参照ください。



- 3 **+ユーザー**を押してユーザーの名前を入力してください。



- 4 ユーザーが属するグループを指定し、パスワードを入力してください。パスワードは、文字・特殊文字・数字を混ぜて16文字以内に指定してください。パスワード設定は必ずスクリーンキーボードで入力してください。
- 5 RTSPを使用するためのパスワードを設定してください。セキュリティ上の理由により、RTSP接続パスワードとユーザーパスワードをそれぞれ設定することをお勧めします。RTSPを使用の使い方は**RTSP ページ 75**を参照ください。
- 6 **自動ログイン**項目と**自動ログアウト**項目を選択してください。
- 7 **適用**または**決定**ボタンを押して設定を終了してください。



- グループ名、ユーザー名、パスワード、メールはスクリーンキーボードでも入力することができます。スクリーンキーボードの使い方は**スクリーンキーボードによる文字列入力 ページ 28**を参照ください。
- 登録されたユーザーとグループを削除するには、各項目の右側にある アイコンを押してください。**グループ Administrator**と**ユーザー admin**は削除できません。
- 画面上段のユーザーおよびグループ名の右側にある アイコンを押すと、**グループ Administrator**と**ユーザー admin**を除く全てのグループやユーザーを一度に削除することができます。
- すでに作られたグループやユーザーの設定値を変更するためには、パスワードを入力する必要があります。
- **グループ Administrator**の権限オプションは変更できません。
- **ユーザー admin**を選択したとき、パスワード以外の情報は変更することができません。
- システムが起動されると、**自動ログイン**項目で選択したアカウントに自動ログインされます。
- **自動ログアウト**設定された時間の間にシステムを操作しない状態が続くと、自動的にログアウトされます。

グループ

システム終了		システムメニューでシステムを終了することができます。
アップグレード		システムメニューでシステム情報設定をアップデートすることができます。
色調整		各カメラの輝度、コントラスト、彩度、色調が調整できます。
	自己調整ビデオモード	映像プリセットをナチュラル、鮮やかさ、ノイズ減少の中から選ぶことができます。
システム検査		システム検査の結果であるシステムの状態が確認できます。
PTZ制御		PTZカメラを制御することができます。
アラームアウト制御		アラーム出力発生時にリセットすることができます。遠隔プログラムの アラームアウト制御 ボタンを押して、アラーム出力をリセットすることができます。
隠しカメラ表示		監視モードや検索モードで隠しカメラに設定されたカメラを表示することができます。

検索	バックアップ	バックアップ権限のある場合、検索および映像保存ができます。バックアップ権限がない場合、検索のみできます
	システム時間の変更	システムの日時/時間を変更することができます。
設定	データ削除	システムに保存されているデータを削除することができます。
	PTZ設定	PTZに関する設定を行うことができます。
	アラーム出力設定	アラーム出力の設定を行うことができます。
	隠しカメラ設定	隠しカメラの設定を行うことができます。
	録画設定	録画設定に関する環境設定を行うことができます。
	DirectNDC	ネットワークを通じてNVRに接続し制御することができます。
	イベントアップロード	イベント感知時のビデオクリップをアップロードすることができます。
	自己診断	現在のNVRの状態を自己診断することができます。
	設定読込	以前に保存したNVR設定を読み込むことができます。
	設定保存	現在のNVR設定を保存することができます。

セキュリティ

セキュリティ設定を行うことができます。

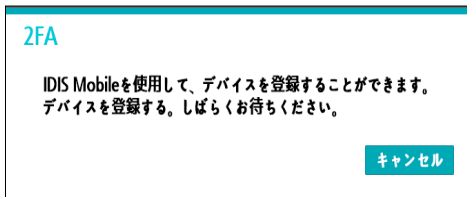


- ✓ 電子メール確認機能を使用するためには、FEN設定が必要です。
- アカウント一つにつき、最大4個のデバイスを登録できます。

Use 2FA

Use 2FA項目を選択して、2FA機能を使用します。登録を選択すると、下記のようなメッセージが表示されます。

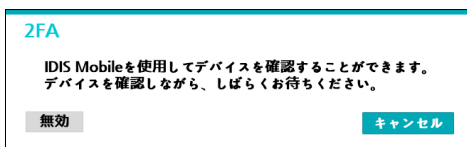
2FAとは、セキュリティのために設定、検索、アップグレードをするとき、登録されたモバイルデバイスをもう一度認証する機能です。



- ✓ 2FAデバイスの登録は、IDISモバイルアプリでのみ可能です。
- adminアカウントでのみ設定することができます。
- アカウント一つにつき、最大4個のデバイスを登録できます。

モバイルデバイスの登録が完了すると、設定、検索、アップグレードをするときに下記のようなメッセージが表示されます。

左下の無効ボタンを押し、adminアカウントの電子メールを確認することで、2FA機能を非活性化することができます。



HDD

HDDに関する設定を行うことができます。



- **タイプ**：実装されているディスクの種類が表示されます。
- **容量**：各ディスクの容量が表示されます。
- **初期化**：フォーマットされたディスクの場合、**録画**、**使用しない**のいずれか一つが表示されます。まだフォーマットされていないディスクを接続すると、**初期化されていません**というメッセージが表示されます。
- **情報**：実装されているディスクが録画に使用されているかを表します。他システムで使用していたディスクを接続した場合、**外部**と表示されます。各ディスクの**情報**を選択して保存されたデータの時間情報を確認したり、**削除**を選択してデータを削除したりすることができます。
- 各ディスクの**初期化**を選択すると、録画データが保存できるようにフォーマットすることができます。
- 用途は**使用しない**を選択してフォーマットすると、そのディスクは録画用として使用しません。
- 本NVRはSATA2 HDDに対応します。


モニタリング

システムイベントの監視に関する設定を行うことができます。



- **設定**：各システムイベントの監視間隔および監視項目を設定することができます。
- **動作**：各イベント発生時に実行されるアラーム出力(カメラのアラーム出力チャンネル)および通知(メール、LAN1~5、プッシュ、警告ウィンドウ)機能を設定することができます。

監視

システム	監視間隔が設定でき、周期的なシステムの自己点検を行います。
システム起動、システム再起動、システム終了	システム起動、再起動、または終了されると、設定した動作を行います。
緊急録画	緊急録画発生時には設定した動作が始まります。
録画を確認	<p>録画するようにスケジュールされている場合、設定されたスケジュール上の監視間隔の間に録画されていない場合は異常になります。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> スケジュールオンを選択した後、曜日や時間範囲、監視間隔を設定します。設定ウィンドウ左下の+ボタンを押すと、新しいスケジュールが追加されます。<input checked="" type="checkbox"/>アイコンを選択してスケジュールを削除することができます。</p> 
アラームインを確認	アラーム入力を使用しているとき、設定した監視間隔の間にアラーム入力が発生しない場合は異常となります。
ディスクフル警告	全体ディスク容量の80~99%まで設定することができます。ディスク容量が該当する比率以上を占めた場合にイベントが発生します。
ディスクフル	全体のディスクがフルになったときイベントが発生します。
ディスクエラー	割合は10~90%まで10%単位で設定することができます。ディスク容量のうち指定した割合以上に損傷した場合イベントが発生します。

ディスク温度	温度を設定することができます。いずれかのHDDの温度が指定した設定温度に達したり、高くなるとイベントが発生します。
ディスク S.M.A.R.T.	S.M.A.R.T.に対応するディスクにエラーが発生した場合、イベントが発生します。
ファンエラー	本体内部のファンが正常に動作しないときに、イベントが発生します。
ディスク構成の変更	HDD交換後などに、システムが再起動されると発生するイベントです。
保存デバイス無し	HDDが接続されていない時に発生するイベントです。

- システムイベントの場合、動作で電子メール通知だけが選択できます。
- 通知(コールバック)機能を使用するためには、NVRがコールバックを受けるPCの遠隔ソフトに登録する必要があります。

自己診断

システムイベントの自己診断を設定することができます。

本機能は遠隔プログラムを利用してNVRに接続する場合でも使用できます。



診断結果

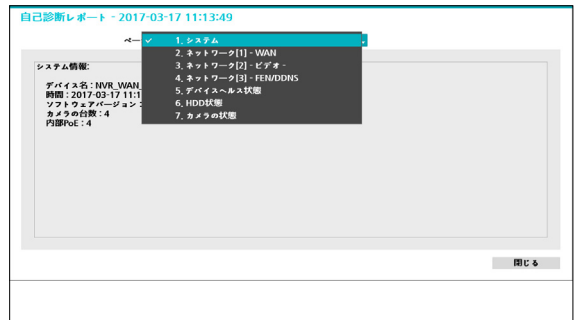
- **番号**：エクスポートする診断レポートを選択、または解除することができます。
- **時間**：自己診断を開始した時刻が表示されます。
- **レポートの表示**：診断結果に関する情報を**良い・悪い**で簡単に表します。
- **+** ：表の下の+ボタンを押して、手動で自己診断を行うことができます。
- **保存**：自己診断レポートをHTML形式の文書に変換し、USBメモリまたはNetFSに保存することができます。また、複数のレポートをまとめてエクスポートすることができます。
- **自動生成周期**：自己診断の自動生成周期を6時間、12時間、1日などに設定することができます。

- 診断結果は最大24件まで保存されます。1日周期で自動生成設定を行った場合、最近24日間分の診断結果だけが閲覧できます。
- 診断結果はシステムの電源がOFFになると、自動で消去されます。
- 診断結果は日付の新しいレポートが一番上から表示される降順にソートされます。

- **フェイルオーバー**：自己診断時、当該デバイスに対する**不具合が発見された場合、フェイルオーバーボタンをクリックして不具合を解決することができます。**

- **ターゲット装置**：不具合を解決するデバイスを設定することができます。
- **チャンネル**：対象デバイスをカメラに設定した場合、カメラの**チャンネル**を選択することができます。
- **動作**：フェイルオーバーで実行する動作を設定することができます。
- **フェイルオーバーを実行**：診断結果で不具合が見つかった場合、**フェイルオーバーを実行...**ボタンをクリックし、不具合を解消します。

カメラに**フェイルオーバーを実行...**を押すと、カメラは再起動されます。



- ページに**システム/ネットワーク/デバイスヘルス状態/HDD状態/カメラの状態**など自己診断ページを設定し、対象デバイスの自己診断結果を確認することができます。

本NVRの自己診断レポートはテキスト形式の文書でのみ閲覧することができます。

本機能は遠隔プログラムでNVRに接続した場合でも自己診断設定や結果を検索することができます。診断結果リスト下段の保存ボタンを押してPCウェブブラウザなどで閲覧するか、遠隔プログラムで診断結果を検索し、下図のようなHTML形式で閲覧することをお薦めします。

システム情報

- デバイス名: NVR WAN 000322304dfd
- 稼働: 2018/04/10 16:04:35
- ソフトウェアバージョン: 1.2.0 RMO1212 (Apr 9 2018)
- カメラの台数: 4
- 内蔵PoE: 4

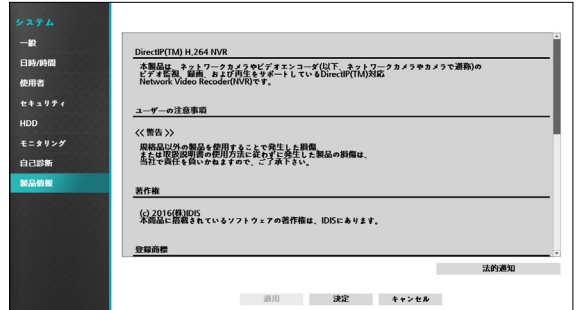
デバイスヘルス状態:

番号	1	2	3	4				
カメラ番号	0	0	-	-				
検出失敗	-	-	-	-				
設置状態	良好							
録画されたビデオ	2018/04/10 10:21:37 ~ 2018/04/10 16:04:06							
録画の書き込み	オン							
録画スケジュール	オン							
HDD#	内蔵 1: 使用中							
ディスクエラー	良好 (0%)							
HDD温度	良好 (36.0C)							
S.M.A.R.T	良好							
ファン状態	良好							

カメラの状態:

番号	タイトル	製品	MACアドレス	IPアドレス	バージョン	接続	ネットワーク状態	PoE
1	CAM1	DN-D11111	00:09:22:11:2C:3D	169.254.235.174	1.0.0	良好 (4/4)	●●●●●	3.6 W
2	CAM2	DC-V3213XU	00:03:22:32:9F:4D	169.254.228.174	1.0.1	良好 (4/4)	●●●●●	5.8 W

製品情報

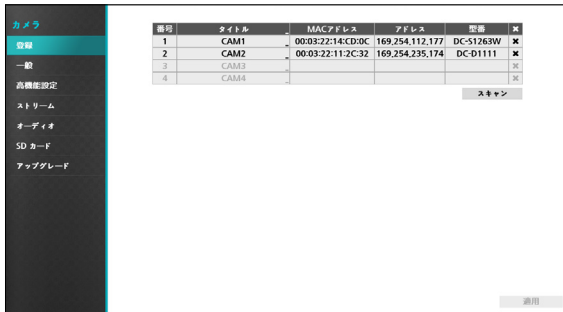


カメラ設定

設定メニューの使い方は[メニューの使い方 ページ 28](#)を参照ください。

登録

遠隔プログラムからもNVRにカメラを登録することができます。また、リストから**カメラ番号**を押すと、マウスの**ホイール**を利用してカメラの位置を移動することができます。カメラの位置を移動するとき、下のカメラとの入れ替えは自動的に行われます。



- **タイトル**：カメラのタイトルを編集することができます。
- **MACアドレス**：NVRに登録されているカメラの**MACアドレス**が表示されます。
- **アドレス**：NVRに登録されているカメラの**IPアドレス**が表示されます。
- **型番**：カメラのモデル名が表示されます。
- **スキャン**：スキャンを選択し、NVRに接続されているデバイスを検索して登録することができます。

本機能は遠隔プログラムを利用してNVRに接続する場合のみに対応します。

デバイススキャン

カメラ登録-スキャンでデバイスを検索することができます。



- **プロトコル**：検索したいカメラ（またはビデオエンコーダー）のプロトコルを選択してください。

選択したプロトコルによって、対応できるスキャンモードが異なることがあります。

- NVRに対応するプロトコルでも、カメラのモデルによってはデバイス登録ができなかったり、機能が使えなかったりする場合もあります。対応するカメラのモデルに関する詳しい内容は、NVRの代理店までお問い合わせください。

- **モード**：**検査モード**を選択してください。

- **自動スキャン(LAN)**：ローカルネットにあるカメラを検索します。自動スキャン(LAN)モードで検索できないカメラはIPアドレスで検索してみてください。

- **IPアドレス**：カメラのIPアドレスを入力して検索します。2台以上のカメラを登録する場合、IPアドレスを範囲で入力すると、一度に検索することもできます。IPアドレス設定時のポート設定を選択すると、遠隔監視に使用するポート番号を設定することができます。カメラのネットワーク接続を設定するとき、DHCPを使用しないことをお勧めします。DHCPを使用する場合、外部ネットワーク環境の変化によって、デバイスが正しく接続されないことがあります。

自動スキャン(LAN)モードで検索できないカメラはIPアドレスモードで検索してみてください。

- **フィルタ**：登録したいカメラの**MACアドレス/アドレス/型番/名前/状態**のキーワードを入力して検索することができます。

ポートを設定するとき、NVRで指定したポートとカメラで使用されるポートが異なる場合、検索されないことがあります。このような場合、カメラのIPアドレスを変更しないと、デバイスを登録することができません。

- **番号**：検索されたカメラの**番号**を選択した後、**カメラを追加**をクリックすると、カメラを登録することができます。
- **MACアドレス**：検索されたカメラの**MACアドレス**が表示されます。
- **アドレス**：検索されたカメラの**IPアドレス**が表示されます。
- **型番**：検索されたカメラの**型番**が表示されます。
- **プロトコル**：検索されたカメラの**プロトコル**が表示されます。
- **名前**：検索されたカメラの**名前**が表示されます。
- **状態**：NVRに登録されているカメラは**登録**に、登録されていないカメラは**未登録**に表示されます。

ログイン

パスワードが設定されているか、または他社製のカメラの場合、装置を登録するためには、登録権限のあるユーザーでログインしなければなりません。

- 1 ログインしたいデバイスをリストから選択した後、**カメラを追加**を選択するとログインウィンドウが表示されます。

The screenshot shows a login window titled "ログイン". It displays the following information:

- Index: 1 / 1
- MACアドレス: 00:03:22:14:CD:0C
- IPアドレス: 169.254.112.177
- 型番: DC-S1263W
- 名前: (blank)
- ユーザー: admin
- パスワード: (masked)
- 全て適用

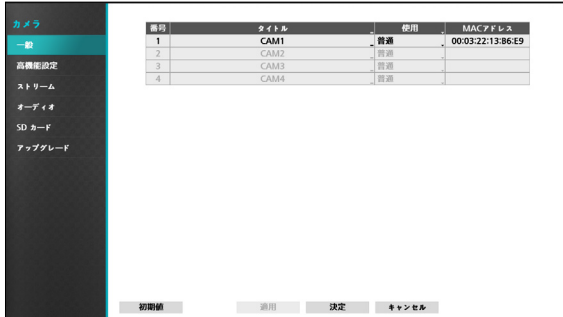
At the bottom, there are three buttons: "キャンセル" (Cancel), "決定" (OK), and "次" (Next).

- 2 **ユーザー**を選択した後、**パスワード**を入力し、**決定**ボタンを押してください。

- 全て適用**を選択すると、デバイススキャンリストに表示されるすべてのデバイスに同じ認証情報を適用します。
- リストから複数のデバイスを選択し、**カメラを追加**を選択すると、そのデバイスに対する認証ウィンドウが順番に表示されます。**次**を選択すると、選択したデバイスの認証をキャンセルし、次のデバイスの認証ウィンドウを表示します。
- IDISカメラの場合、ユーザーとパスワードをたずねないことがあります。

一般

カメラを使用するか否かを選択したり、タイトルを編集したりすることができます。



- **タイトル** : カメラのタイトルを編集することができます。
- **使用** : **普通**、**隠し1**、**隠し2**に設定することができます。
隠し1または**隠し2**で設定する場合、隠しカメラを見る権限のないユーザーは、そのカメラの映像を監視・再生できません。**隠し1**の場合は映像は表示されませんが、様々なOSDは表示されます。**隠し2**の場合はカメラが未接続のように映像だけではなくOSDも表示されません。
- **MACアドレス** : カメラのMACアドレスを確認することができます。

詳細設定

カメラのセキュリティレベルを設定したり、カメラの一般的な設定を行ったりすることができます。



- **ビデオ** : カメラの映像センサー設定、ホワイトバランス、露出などの設定ができます。カメラによって設定項目が異なる場合があります。
- **プライバシーマスキング** : プライバシーマスキングの動作有無やエリア設定が可能です。
- **SSL** : カメラのセキュリティレベルを使用しない、標準、良い、とても良いのいずれ一つに変更することができます。標準、良い、とても良いに設定された場合、SSL(Secure Sockets Layer)認証を利用したセキュリティ機能が適用されます。
- **リセット** : ポートまたはカメラをリセットします。
 - **PoE リセット** : Video In/PoE端子に接続したり、オプションで提供されるDirectIP PoE Switchを使用する場合、PoE Switchポートを制御することができます。**PoE リセット**ボタンを選択すると、カメラを再起動することができます。
 - **ソフトリセット** : カメラを再起動することができます。
 - **ファクトリーリセット** : カメラを工場出時の初期設定に戻すことができます。本機能はDirectIPカメラの場合にのみ対応します。
- **モード** : 解像度モードを選択することができます。本設定はビデオエンコーダーの場合のみに対応します。

- **PTZ** : 機能を搭載したカメラの場合、PTZモードを使用できるように設定します。(RS-485対応製品のみ。)

1. CAM1

PTZ モデル / ID なし / 0

ポーレート 9600

データ長 / ストップビット 8 / 1

パリティ なし

決定 キャンセル

- **PTZ製品** : 設置されたPTZカメラの種類を選択します。
- **ID** : 各PTZカメラのID番号を指定します。
- **ポーレート/データ長/ストップビット/パリティ** 一値を設定することができます。

- 設定に関する詳しい内容は、PTZカメラの装置製造社の取扱説明書をお読みください。
- カメラが対応するPTZ種類によって表示される設定ウィンドウが異なります。

1. CAM1

	1	2	3	4
	プリセット	スキャン	パターン	巡回
	0	0	0	0

5 PTZ リセット リセット

6 ホーム位置 初期値 設定

7 オートラン なし 時間(秒) 10

8 オートパン 時計回り

9 オートフリップ デジタル

10 チルトレンジ -90 ~ 90

11 リストア 最後位置 & ファンクション

決定 キャンセル

- プリセット、スキャン、パターン、ツアーの各項目で表示される数字は、設定された機能の個数です。

① プリセット

プリセット - 設定

番号	名前
1	preset1
2	preset2
3	preset3
4	
5	
6	
7	
8	

1 / 32

拡大 (+) 縮小 (-)

フォーカス (F) (C)

速度 8

セット 移動

編集 削除

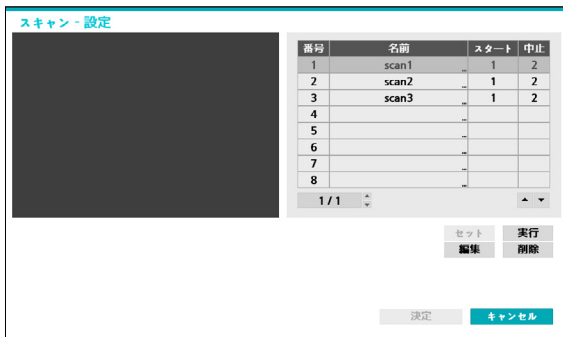
適用 決定 キャンセル

- 下のボタンを利用して、プリセットの位置を設定します。
 - 方向ボタン(↑ ↓ ← →): カメラをパンまたはチルトしてカメラの方向を調整します。
 - **拡大** (⊕ ⊖): 映像を拡大または縮小します。
 - **フォーカス** (⊕ ⊖): 近くにまたは遠くにある映像にカメラのフォーカスを合わせます。
 - **速度** : カメラのファンチルトの速度を設定します。
- **セット** : プリセット番号を選択したあと、プリセットの名前を入力します。現在の位置がそのプリセットの番号および名前として保存されます。

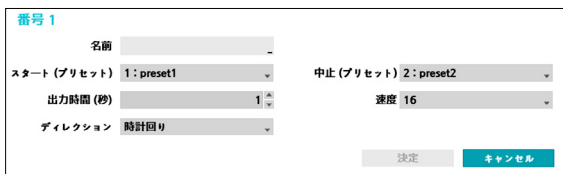
- **移動**：リストからプリセットを選択してボタンをクリックすると、カメラが選択したプリセットの位置に移動します。
- **編集**：プリセット名を変更します。
- **削除**：プリセットを削除します。

② スキャン

スキャン機能を設定し、予め指定した2つの地点をカメラ移動させることができます。スキャン機能を有効にするためには、プリセットは2つ以上設定されている必要があります。



- **セット**：スキャン機能を設定します。








- **名前**：スキャン名を入力します。
- **スタート/中止**：スキャンを開始/終了するプリセットの位置を選択してください。
- **出力時間(秒)**：カメラがスキャンをスタートして終了する位置までの時間を設定します。
- **速度/ディレクション**：スキャンの速度および方向を設定します。
- **Run**：スキャン番号を選択してボタンをクリックすると、スキャン機能をテストします。
- **編集**：スキャン設定を変更します。
- **削除**：スキャンを削除します。

③ パターン

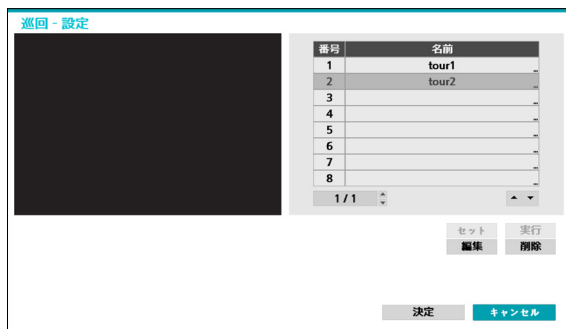
パターンの機能を設定すると、予め指定されて経路でカメラを移動させることができます。



- **設定スタート**：パターン番号を選択したあとパターンの名前を入力し、**決定**ボタンを押すとカメラの動きが保存されます。方向、拡大、フォーカスボタンを利用し、カメラを動かしたあと、**録画停止**ボタンをクリックすると保存されます。最大2分間の動きを保存することができます。
 - **方向ボタン**(): カメラをパンまたはチルトしてカメラの方向を調整します。
 - **拡大** ( ): 映像を拡大または縮小します。
 - **フォーカス**( ): 近くにまたは遠くにある映像にカメラのフォーカスを合わせます。
 - **速度**：カメラのファンチルトの速度を設定します。
- **Run**：パターンを選択してボタンをクリックすると、パターン機能をテストします。
- **編集**：パターン設定を変更します。
- **削除**：パターンを削除します。

④ 巡回

ツアー機能を設定し、カメラが複数の機能をすでに指定しておいた順番に遂行するようにできます。



- **セット** : ツアー機能を設定します。



- **名前** : ツアー名を入力します。
- **番号** : 実行する機能の順番を表示します。
- **出力時間(秒)** : その機能が維持する時間を設定します。
- **速度** : プリセット動作の速度を設定します。
- **Run** : ツアーを選択してボタンをクリックすると、ツアー機能をテストします。
- **編集** : ツアー設定を変更します。
- **削除** : ツアーを削除します。

プリセット、スキャン、パターン、ツアー設定を行ったあと**適用**を選択すると、左画面で設定が適用されたカメラの映像を確認することができます。**適用**または**決定**を選択すると、ダイアログボックスで設定が成功しているかどうか、確認することができます。

- ⑤ **PTZ リセット** : カメラのパンチルト、または拡大設定を動作以前の状態に戻します。
- ⑥ **ホーム位置** : カメラのホームポジションを設定します。

- **初期値** : 工場出荷時に設定された初期位置をホーム位置に設定します。
- **ユーザー定義** : ユーザーが変更した位置をホーム位置に設定します。
- **設定**を選択し、ホーム位置を変更することができます。
- ⑦ **オートラン** : 設定された時間の間にカメラが制御されないときに実行する機能を設定します。
- ⑧ **オートパン** : カメラのパンの方向を設定します。遠隔プログラムでオートパンを実行するとき、設定された方向にパン機能が作動します。
- ⑨ **オートフリップ** : カメラが90°以上チルトするとき、物体が反対に見えることを防止するため自動的に映像またはカメラを反転させます。
 - **デジタル** : 映像を左右または上下に反転させます。
 - **メカニカル** : カメラを自動でパンまたはチルトします。
 - **オフ** : 自動反転機能を解除します。
- ⑩ **チルト範囲** : カメラのチルト範囲を設定します。
- ⑪ **リストア** : カメラの最後の位置および機能を復帰するか否かを設定します。復帰機能を使用する場合、カメラの再起動時にその直前の位置に移動したり、最後に遂行していた機能を遂行したりします。

プライバシーマスキング設定

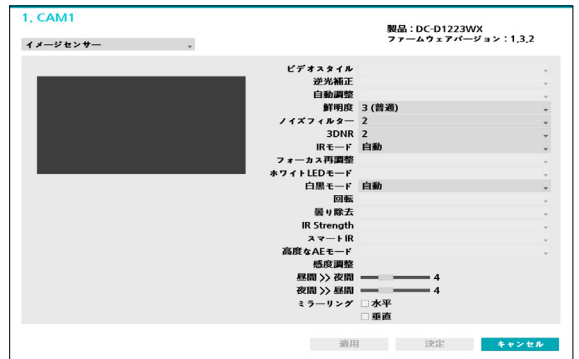


名前を選択すると、設定されたプライバシーマスキングエリアの名前を変更することができます。設定されたプライバシーマスキングエリアは、アイコンを押して個別に削除するか全体を削除します。**プライバシーマスキング設定**を選択すると、エリア設定画面が表示されます。マウスでドラッグしてプライバシーマスキングエリアの大きさを自由に設定することができます。なお、最大16のエリアを追加することができます。



- **編集**：設定されたプライバシーマスキングエリアの名前を変更します。
- **削除**：設定されたプライバシーマスキングエリアの名前を削除します。
- **保存**：設定を保存し、エリア設定画面を閉じます。
- **キャンセル**：変更した内容を保存せず、エリア設定画面を閉じます。

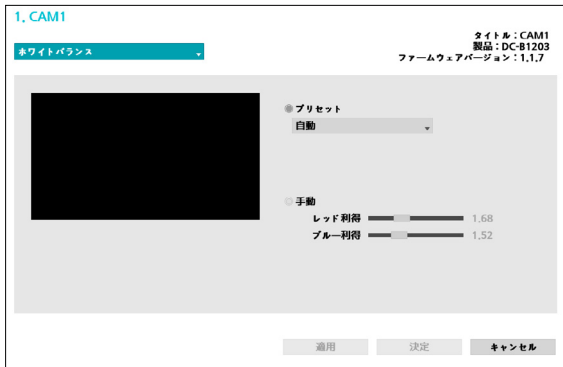
イメージセンサー設定



- **タイトル、製品、ファームウェアバージョン**：カメラ名、モデル名およびソフトウェアバージョンを表示します。
- **ビデオスタイル**：TV色またはPC色を選択することができます。
- **逆光補正**：逆光補正機能のON/OFFを設定します。逆光補正を使用する場合、逆光のときでも被写体をより明るく映します。
- **自動調整**：自動を選択すると、システムがカメラの設置された場所の照明を感知し、適切な値を自動で設定します。手動を選択すると、ユーザーが手動で値を調節することができます。
- **鮮明度**：映像の鮮明度を設定します。映像の輪廓を調節し、鮮明度を補正することができます。値が大きいほど映像が鮮明になりますが、大きすぎる場合には映像にノイズが発生することがあります。
- **ノイズフィルター**：ノイズフィルターの強度を設定します。照度が低い場所で映像のノイズを減らすことができます。値が大きいほどノイズが減りますが、大きすぎる場合には映像が全般的にぼやけることがあります。
- **3DNR(3Dノイズの除去)**：3DNRを使用するか否かを設定します。3DNRを使用する場合、低照度の環境でも背景のノイズを減らすことができます。3Dノイズフィルターを適用すると映像がぼやける現象はなくなりますが、画面を引きずる現象(残像)が発生することがあります。

- **IRモード**：IRモードを使用する場合、カメラが赤外線を遮断します。照度が高い場所では赤外線を遮断し、照度が低い場所では赤外線遮断を解除することで、どのような照度環境でも映像を鮮明に録画することができます。
 - **デイモード/ナイトモード**：昼間または夜間モードに設定します。
 - **自動**：カメラの設置環境によって、システムが自動的にIRモードを使用するか否かを設定します。
 - **スケジュール**：IRモード使用スケジュールを設定します。デイモードに設定された日付・時刻にはIRモードが解除され、それ以外ではIRモードが作動します。
- スケジュール機能に対応していないカメラの場合、その機能は表示されません。
- **フォーカス再調整**：昼夜間が切り替わるとカメラのフォーカスを再調整します。
 - **オン/オフ**：フォーカス再調整をオン/オフします。
 - **昼夜モードへ変更**：カメラが昼間または夜間と映像が切り替わる場合、カメラのフォーカスを再調整します。
 - **IRへ変更**：カメラがIRを感知してIR環境の場合、フォーカスを再調整します。
 - **ホワイトLEDモード**：PIRセンサーにより動きを検出したとき、自動/On/OffにてホワイトLEDを点灯するか否かを設定します。
 - **白黒モード**：白黒モードでは映像を白黒にして、照度の低い場所でも映像をきれいに映すことができます。
 - **オン/オフ**：白黒モードをオン/オフします。
 - **自動**：カメラの設置環境によって、システムが自動的に白黒モードを設定または解除します。
 - **スケジュール**：白黒モードのスケジュールを設定します。昼間に設定された日付や時間の間に白黒モードが解除され、それ以外には白黒モードが設定されます。
- スケジュール機能に対応していないカメラの場合、その機能は表示されません。
- **回転**：回転機能を使用するか否かを設定した後、方向を選択します。回転機能を使用する場合、映像を時計回り、あるいは反時計回りに90度回転させます。ただし、垂直解像度が320より小さい場合、本機能には対応しません。本機能を使用すると、廊下や通路など細長い空間を監視するとき、より効果的に監視することができます。
 - **曇り除去**：本機能を使用するかどうかを設定します。本機能を使用すると霧のかかった映像を補正して表示してくれます。
 - **IR Strength**：IR LEDの明るさを調節します。明るさを手動で0%～100%まで設定することができ、値が大きいくほど明るくなります。
 - **スマート IR**：夜間IR動作時IRによって近距離の被写体を認識しない場合は、AE制御を介して映像を補正します。
 - **高級なAEモード**：普通または番号識別の中から設定モードを設定します。番号識別モードでは照度が低い場所で逆光によって映像の特定の部分が明るすぎてそれ以外の部分が暗すぎる場合、その特定の部分の逆光を遮断しそれ以外の部分の映像をより明るくて鮮明に見ることができます。例えば、暗い駐車場の入口や夜間のガソリンスタンドの入口で車のヘッドライトに強く照らされたとき、ヘッドライトの光だけを遮断して車のナンバープレートを識別することができます。番号識別モードを選択すると映像センサーの一部の設定値が番号識別モードで適切な値が自動的に適用され、ユーザーが任意で変更することはできません。
 - **感度調整**：1～10の間の感度調整レベルによって、デイモードまたはナイトモードの変更時点が調節されます。レベル値が高ければ高い照度で、低ければ低い照度でデイモード/ナイトモードが切り替わります。
 - **ミラーリング**：水平または垂直項目を選択し、映像を左右または上下に反転させます。
- カメラ設定を行ったあと適用を選択すると、左画面で設定が適用されたカメラの映像を確認することができます。適用または決定を選択すると、ダイアログボックスで設定が成功しているか確認することができます。

ホワイトバランスの設定



- **プリセット**：予め設定しておいたホワイトバランス値を環境に合わせて選択します。
 - **自動**：ホワイトバランスを自動調節します。システムがカメラの設置された場所の照明を感知し、適切なホワイトバランスに自動設定します。
 - **白熱灯～蛍光灯(ダーク)**：カメラが設置された場所の照明を選択すると、環境に合ったホワイトバランスが設定されます。
- **手動設定**：ホワイトバランスを手動で調節できます。RedおよびBlue利得が調節でき、値が大きいくほどその色が強調されます。

カメラ設定を行ったあと**適用**を選択すると、左画面で設定が適用されたカメラの映像を確認することができます。**適用**または**決定**を選択すると、ダイアログボックスで設定が成功しているか確認することができます。

露出設定



- **AEターゲット利得**：露出補正のためのターゲット利得を設定します。選択したターゲット利得を基準として自動的に露出が補正されます。値が大きいくほど全般的に映像が明るくなります。
- **ローカル露出**：逆光などにより生じる人物や被写体の黒つぶれをデジタル処理して明瞭にします。映像に暗過ぎる部分と明る過ぎる部分が同時にある場合、明るい領域を保ちながら暗い領域の明るさを上げ、全体の明暗コントラストを平均的にする機能です。
- **アンチフリッカー**：カメラが設置された場所の照明が蛍光灯のように交流電源(AC)を使用する場合、照明の周波数と同じ周波数を設定します。周波数の差による画面のちらつき現象を減らすことができます(NTSC: 60Hz、PAL: 50Hz)。
- **スローシャッター**：シャッタースピードを設定します。シャッターモードは照度が低い時だけ作動します。スローシャッターモードを使用する場合、照度が低い環境でも明るい映像が得られます。カメラモデルによって動作が異なることがあります。詳細な動作方法は、カメラの取扱説明書をお読みください。
- **フォーカスモード**：フォーカス移動を自動/手動/半自動に変更することができます。この機能はモデルによって対応しない場合があります。
- **WDR**：WDR (Wide Dynamic Range、広域補正)を使用するか否かを設定します。WDRを使用する場合、映像に暗すぎるところや明るすぎるところが同時に存在する場合、両エリアとも確認することができます。
- **IRIS**：レンズの絞りタイプを選択します。**手動**絞りレンズが実装されている場合は手動を、DCタイプ自動絞りレンズが実装されている場合は**DC IRIS**を選択します。また、Pタイプ自動絞りレンズが実装され

ている場合はP IRISを選択します。

- **露光制御**：露光制御を設定します。**アンチフリッカー**および**スローシャッター**がすべて**オフ**に設定されている場合のみに対応します。

- **自動**：システムがカメラの設置されている場所の照度を感じし、適切な速度を自動的に設定します。
- **手動**：スライダーを利用してユーザーがスピードを指定します。カメラが設置されている場所の照度に適切な最低速度および最高速度を設定します。(1/30秒~1/8000秒)

- ☑ カメラ設定を行ったあと**適用**を選択すると、左画面で設定が適用されたカメラの映像を確認することができます。**適用**または**決定**を選択すると、ダイアログボックスで設定が成功しているか確認することができます。

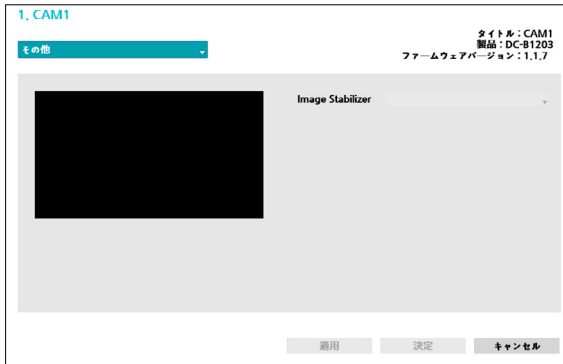
ビューモード



- **タイプ**：カメラのビューを変更することができます。
- **モード**：リアルタイム監視モードでの画面レイアウトを変更することができます。

- ☑
 - モードをオリジナルに設定した場合はDeWarping機能には対応していません。
 - モードを変更すると解像度が自動的に変わります。オリジナルの最大解像度は 2560 x 2048 であり、その他のモードの最大解像度は 1536 x 1536 です。

その他



- **Image Stabilizer** : イメージぶれ補正モードを設定します。風などの外部的な要因によってカメラに振動が発生する場合、映像のぶれを緩和してくれます。

ストリーム



カメラの監視/録画映像の解像度や圧縮方式、画質、伝送速度、フレーム数を設定することができます。

- **カメラチャンネル** : カメラごとにビデオプロファイルを設定することができます。
- **■+□** : カメラチャンネルで選択されたカメラのビデオプロファイルの設定値を、他のチャンネルのカメラにコピーすることができます。
- **ライブ/リモートビデオプロファイル** : 現在設定されている監視映像の品質を確認し、遠隔ビデオプロファイルの設定を変更することができます。
 - 自動遠隔ストリーム使用 : 遠隔プログラムの監視画面分割モードによって、監視1(1分割)、監視2(4分割)または遠隔(4分割以上)ストリームを自動的に伝送します。
- **録画ビデオプロファイル** : 4つの録画品質から選択して設定することができます。
- **ビデオプロファイル** : **監視1、監視2、遠隔監視、カスタム**(録画ビデオプロファイルのみで選択可能)の中の1つを選択することができます。**監視1、監視2**はユーザーが**ビットレート**と**画質**の値だけが変更でき、それ以外の値は自動で入力されます。
 - **圧縮方式** : H.264に対応します。
 - **解像度** : カメラが対応する解像度の中から一つを変更できます。解像度は設定されたビデオプロファイルを考慮して、自動的に最大設定値が制限されます。
 - **画質** : 最高画質、高画質、標準画質、低画質、手動の中から一つを選択することができます。画質はそれぞれ設定することができます。

- **ビットレート** : CBR、VBRの中から一つを選択することができます。**CBR**に設定されると伝送されるデータの量が固定されます。一方、**VBR**に設定されると伝送されるデータ量が映像の動きによって可変的に変動します。
- **ips** : 速度は1~30まで設定することができます。最大ipsは設定されたビデオプロファイルを考慮し、自動で最大設定値が制限されます。
- **インテリジェントコーデック**: 知能型コーデックを使用してビットレートを下げます。



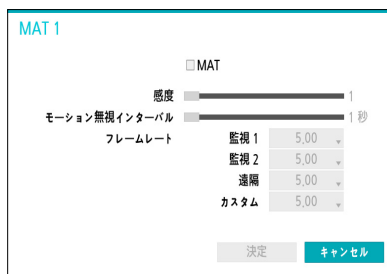
- 本機能をサポートしていないカメラの場合は、その機能は表示されません。
- インテリジェントコーデック設定時、映像分析機能の開始が最長10秒まで遅くなることがあります。

- **MAT設定**: MAT項目を選択すると、映像の転送および録画時にMAT(Motion Adaptive Transmission)機能を使用できます。



- カメラのMAT (Motion Adaptive Transmission) 機能が有効になっている場合連動した画像解析装置が正常に動作しない場合があります。
- 画像解析の精度を高めるためには、連動するカメラのMAT機能を使用していないことをお勧めします。
- 本機能をサポートしていないカメラの場合は、その機能は表示されません。

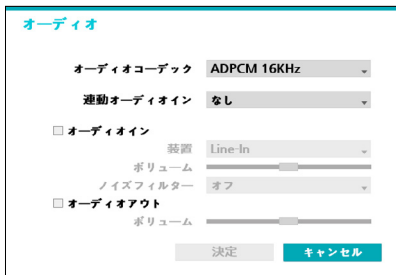
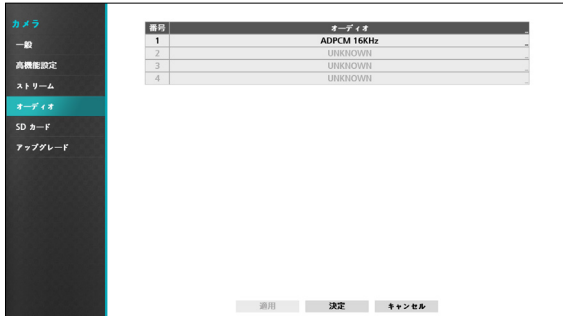
**モーション連動バンド幅制御(MAT)機能は画面上の動きが一定期間ないとfps(伝送フレーム数/秒)を下げてネットワークの負荷を減らしストレージ容量を節約する機能です。ユーザーは“モーション無視インターバル”を調整してモーション連動バンド幅制御(MAT)機能の周期を変更することができます。モーション連動バンド幅制御(MAT)機能が作動している間にモーションが感知されると以前のfpsにすぐ復旧します。



- **感度** : 昼間と夜間のそれぞれに対してモーション感知に対する感度を設定します。値が大きいほどモーションをより敏感に感知します。
- **モーション無視インターバル** : モーション無視インターバルを設定します。モーション無視インターバルの間モーションが感知されない場合、モーション無視インターバル以降モーションが感知されるまで、設定するフレームレートで映像を配信および録画します。

オーディオ

カメラの録音関連機能を一括して設定することができます。



- **オーディオコーデック** : オーディオコーデックを選択します。(G.711 u-Law、G.726またはADPCM16KHz)
- **オーディオイン** : オーディオ入力ソース(マイクまたはラインイン)を選択してボリュームを調節します。ノイズフィルター機能は、環境ノイズを低減させて音声を強化させる機能です。ノイズフィルターをオンにすると少し音声が歪む場合があり、広い場所で歌声を使用すると性能が低下するおそれがありますので、ご使用をお控えください。
- **オーディオアウト** : ボリュームを調節します。
- **連動オーディオイン (Associated Audio In)** : 選択したオーディオチャンネルをカメラに連動させます。本設定はビデオエンコーダーの場合にのみ対応します。



カメラはオーディオ出力アンプを実装していないため、ユーザーはアンプとスピーカを用意する必要があります。

SD Card

カメラとNVR間の接続が切れた場合、カメラの内部に装着されているSDメモリカードに映像を保存することができます。NVRとカメラ間の接続が正常に復旧したら、スマートフェイルオーバー機能を作動させ、SDメモリカードに保存された映像をNVRに録画します。スマートフェイルオーバーに関する詳しい内容は、[スマートフェイルオーバー ページ 56](#)をお読みください。

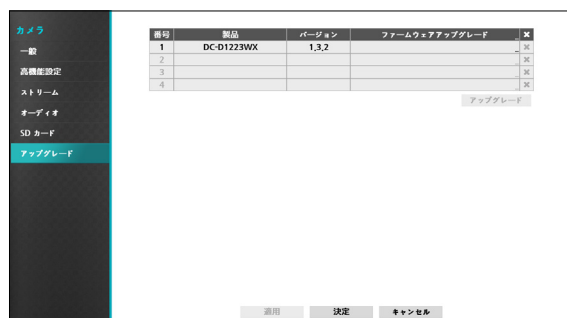


- **録画** : NVRとカメラ間の接続が切れた場合、カメラが自動的にSDメモリカードに映像を保存するように設定します。
 - **上書** : SDメモリカードの空き容量が不足している場合、古い映像から自動的に削除され、新しい映像が保存されます。
 - **録画データ** : SDメモリカードに保存されたデータの録画区間の時間情報が表示されます。
 - **初期化** : SDメモリーに保存されたデータをフォーマットします。SDカードをフォーマットすると、SDカードに保存されたすべてのデータが削除されます。
- 本機能はSDメモリカードのスマートフェイルオーバー機能に対応するカメラのみで使用することができます。
- 新たに登録したカメラの場合、フォーマット項目が**外部**に表示されます。この場合、SDカードをフォーマットしていなければ、本機能は使用できません。

アップグレード

NetFS機能が使用中の場合、各ネットワークカメラの**ファームウェアアップグレード**を選択すると、USBメモリあるいはNetFSから選択することができます。NetFSを使用しない場合には、USBメモリだけを選択することができます。USBメモリを選択した後USB検索ウィンドウが表示されたら、USBに接続されている保存デバイスから該当するアップデートパッケージファイルを選択してください。

各々のカメラのアップグレードパッケージファイルを選択して適用ボタンを押すと、カメラをアップグレードできます。



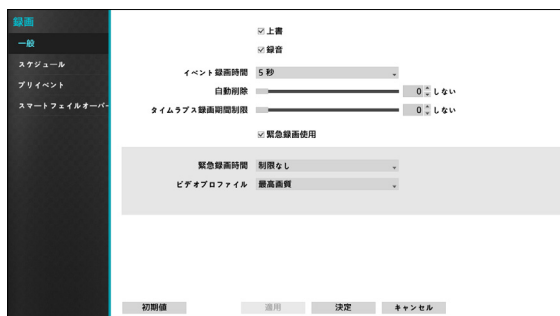
- アップグレードを失敗すると失敗メッセージが表示されます。失敗メッセージは**インストールマニュアル**を参照してくださいを参照ください。
- アップグレードが終了したら、ネットワークカメラは再起動され自動的に接続されます。
- ネットワークカメラをアップグレードするとき、対象カメラのソフトウェアのバージョンは確認しません。

録画設定


設定メニューの使い方は**メニューの使い方 ページ 28**を参照ください。

一般

録画に関する一般的な設定を行うことができます。



- **上書**：録画用のHDDの空き容量がなくなると、ディスク単位で古いデータから削除され新しいデータが保存されます。**上書**を解除すると、HDDの空き容量がなくなったら録画は中止されます。
- **録音**：映像を録画する時、オーディオを一緒に録音します。
- **イベント録画時間**：イベント発生時、動作連動に録画が指定されている場合、このイベント録画期間で指定した時間だけ連動録画が行われます。
- **自動削除**：一定の期間が経過した録画データは、自動的に削除することができます。削除可能な期間は1日～999日まで設定できます。

 自動削除機能を使用しないためには、**しない**に設定してください。自動削除データを選択して期間を設定すると現在の時刻から設定された期間以内の録画データだけを保管し、それ以上経過した録画データは自動的に削除されます。録画データは毎日深夜0時に自動削除され、システムが起動される場合や**自動削除**設定を変更する場合にも削除されます。

- **タイムラプス録画期間制限**：イベント録画映像をより長く保管することができます。タイムラプス録画の期間制限機能を使用しないためには、**しない**に設定してください。この機能は録画ディスクの容量が十分に大きい場合設定した期間よりもっと長くデータを保存した場合に作動し、上書きモードで設定された期間より古い**タイプラプス録画映像データ**を上書きをしながら新しいデータを保存します。

- ☑ ● ディスクに保存されている映像の期間が、設定した**タイムラプス録画期間制限**期間よりもっと短い場合には通常のように**イベント録画映像**と**タイプラプス映像**の中で、最も古いデータを先に削除します。
- 録画の画質や解像度、動き、その他ユーザーの設定内容によってシステムの録画期間が変更される場合があるため、場合によっては**タイプラプス録画期間制限**で設定した期間が保障されない場合があります。

- **緊急録画使用**：緊急録画機能を使用するか否かを設定することができます。
- **緊急録画期間**：緊急録画を自動的に解除することができます。緊急録画期間は5分～1時間まで設定することができます。自動解除機能を使用しないためには、期間を**制限なし**に設定してください。
- **ビデオプロファイル**：緊急録画時の録画のプロファイル値を選択することができます。

スケジュール



＜単純モード＞



＜高级模式＞

スケジュール作動を解除すると、スケジュールに関わらずスケジュール録画が中断され、各カメラ画面の左上に🚫アイコンが表示されます。**緊急録画**ボタンを押すと、🚫表示とともに緊急録画が行われます。

録画スケジュールのモードは、**単純モード**と**高级模式**から一つを選択することができます。**高级模式**を選択すると、各イベントに対してそれぞれ録画スケジュールを設定することができます。

☑ **🚫アイコン**を選択して、スケジュールを削除することができます。

- ☑ ● 録画スケジュールモードを変更すると、変更時に作動していたイベント連動動作は停止します。
- 設定ウィンドウ左下の+ボタンを押すと、新しいスケジュールが追加されます。**曜日**を選択し、録画スケジュールを設定する**曜日**、または**全て**を選択することができます。**範囲**を選択し、時間の範囲を選択することができます。

単純モード設定

- **モード**：録画しない、連続録画、イベントまたは指定時間およびイベントに設定することができます。

録画しない	緊急録画ボタンを押さない限り、スケジュールで指定された曜日や時間の範囲では録画が行われません。
連続録画	画面の左上に アイコンが表示され、スケジュールされた時間帯になると、 アイコンが表示されて録画が始まります。
イベント	画面の左上に アイコンが表示され、そのイベントが発生すると、 アイコンが表示されて録画が始まります。 <input checked="" type="checkbox"/> イベントが設定されているとイベントが発生せずに録画されていないときは、 アイコンと アイコンが表示されます。イベントが発生して録画されるときは、 アイコンと アイコンが表示されます。
指定時間およびイベント	画面の左上に アイコンが表示され、設定で指定した時間どおりにビデオプロファイルで録画されます。イベントが発生したらアイコンが に変わり、設定でイベントに設定したビデオプロファイルで録画されます。

- **チャンネル**：スケジュールを適用するカメラを選択することができます。
- **設定**：選択するとタイムラプスおよびイベント録画モードに対して録画プロファイルの初期値をそれぞれ設定できます。

スケジュール 1 - 設定

モード	ビデオプロファイル
連続録画	最高画質
イベント	最高画質

高級モード設定

設定を選択すると、イベントの種類やビデオプロファイルなどを設定することができます。

- **種類**：時間録画及びそれぞれのイベント別の録画を表示されるアイコンは次のとおりです。

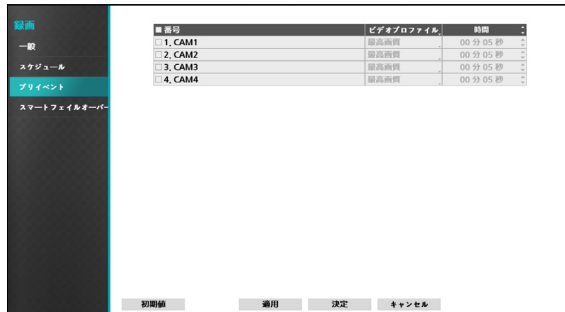
	タイムラプス(時間)		オーディオ検出
	アラーム入力		トリップゾーン
	モーション感知		タンパーリング
	映像信号なし		テキストイン
	録画失敗		ファンエラー
	顔検出		

- **ビデオプロファイル**：録画に使用するプロファイルを設定することができます。
- **期間**：指定したイベントが発生したときに録画される期間を選択することができます。

- 設定しないチャンネルに対しては、上位のスケジュールの設定値が適用されます。
- 特定のチャンネルで同時に複数のイベントが発生して録画が始まる状況において、各イベントの連動録画に対する**ビデオプロファイル**および**期間**の設定値が異なる場合、より上位の設定値に従います。

プライベート

イベントが発生したときに指定された期間だけ、以前の映像を含めて録画する機能です。



- **番号**：プライベートを設定するカメラを選択/解除できます。
 - **ビデオプロファイル**：録画に使用するビデオプロファイルを設定することができます。
 - **期間**：プライベート録画期間を設定することができます。
- スケジュール上、イベントモードのスケジュールが一つもない場合はプライベート録画のためにイベントモードスケジュールを追加するように警告ウィンドウが表示されます。
- **指定時間およびイベントモード**の場合にも警告ウィンドウは表示されます。

スマートフェイルオーバー

カメラとNVR間の接続が解除されたとき、SDメモ리카ードの保存されているデータをNVRに保存する機能です。



- **録画スマートフェイルオーバーサービス**：ネットワーク障害が復旧したとき、SDメモ리카ードに保存されている映像をNVRに録画することができます。
 - **録画データ**：SDメモ리카ードに保存されたデータの録画区間の時間情報が表示されます
 - **状態**：録画データの現在の状態が表示されます。
- 録画フェイルオーバーサービス機能を選択していない場合には、SDメモ리카ードのデータをNVRに録画することはできません。
- 本機能はSDメモ리카ードの録画フェイルオーバーサービス機能に対応するカメラのみで使用することができます。
- カメラとNVRが再接続されると、SDメモ리카ードの録画データは順次NVRへ自動的に転送されます。

イベント設定

設定メニューの使い方はメニューの使い方 ページ 28を参照ください。

ビデオ分析

ビデオ分析の手法はモーション、トリップゾーン、タンパーリングの3つに分けられます。

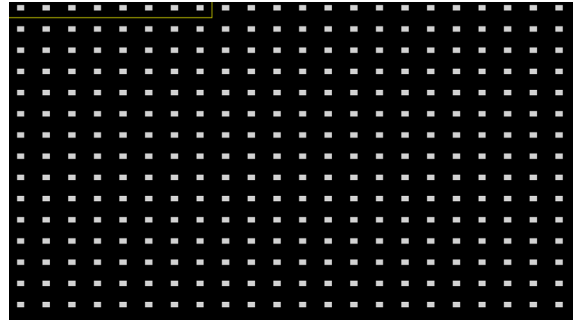
モーション



- **番号**：モーション感知機能を設定するカメラを選択/解除できます。
- **感度**：昼間および夜間に区分され、それぞれ1(低感度)～5(高感度)の間の5段階に感度を設定することができます。



- **エリア**：モーション感知をするエリアをブロック単位で設定します。



マウスを利用してエリアをドラックしたあと、選択/解除/反転させることができます。

エリア設定画面でマウスの右クリックでエリア設定メニューを呼び出すことができます。



- **選択**：選択ウィンドウで選択されたブロックを選択します。
- **解除**：選択ウィンドウで選択されたブロックを解除します。
- **反転**：選択ウィンドウで選択されたブロックは解除し、解除されたブロックは選択します。
- **全て選択**：画面全体のブロックを選択します。
- **全て解除**：画面全体のブロックを解除します。
- **全て反転**：選択された画面全体のブロックを解除し、解除された画面全体のブロックを選択します。
- **決定**：変更されたブロック設定を保存し、エリア設定メニューから出ます。
- **キャンセル**：変更されたブロック設定を保存せず、エリア設定メニューから出ます。
- **ミニマムブロック**：設定されたブロックの数以上でモーションを感知しないと、モーション感知イベントが発生しません。この値を1から**エリア**設定で選択されたブロックの数以下まで選択することができ、週間・夜間を区分してそれぞれ設定します。



- **その他**：PTZ 動作時に、イベントを検知できるように設定することができます。



- **動作**：モーションを感知したときに実行する動作を設定することができます。
 - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
 - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネルを選択することができます。
 - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやラン1~5、プッシュ、警告ウィンドウを設定することができます。
 - **イベントアップロード**：イベント発生時、ビデオクリップをアップロードすることができます。
 - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
 - **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

- コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。

- **モーション感知無視間隔**：モーションが感知された時間以降、一定の時間内に感知されたモーションについてはイベントログおよび遠隔地通知機能を行います。1秒~5秒または「しない」を選択することができます。

- モーション感知無視間隔は、モーション感知連動録画にはなんの影響も及ぼしません。

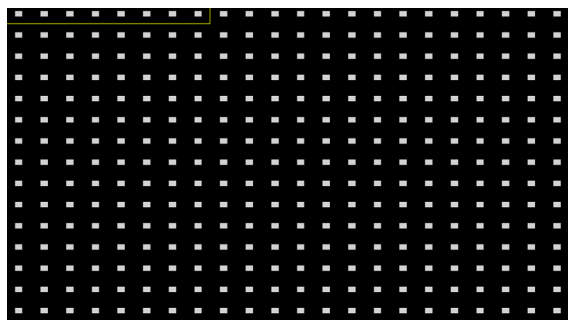
- **昼間設定**：昼間に指定する時間範囲を設定します。時間は15分単位で設定でき、指定した範囲外の時間は夜間に分類されます。



トリップゾーン



- **番号**：トリップゾーン感知機能を設定するカメラを選択/解除できます。
- **感度**：昼間および夜間に区分され、それぞれ1(低感度)～5(高感度)の間の5段階に感度を設定することができます。
- **エリア**：モーション感知をするエリアをブロック単位で設定します。



マウスを利用してエリアをドラックしたあと、選択/解除/反転させることができます。

エリア設定画面でマウスの右クリックでエリア設定メニューを呼び出すことができます。



- **選択**：選択ウィンドウで選択されたブロックを選択します。
- **解除**：選択ウィンドウで選択されたブロックを解除します。
- **反転**：選択ウィンドウで選択されたブロックは解除し、解除されたブロックは選択します。
- **全て選択**：画面全体のブロックを選択します。
- **全て解除**：画面全体のブロックを解除します。
- **全て反転**：選択された画面全体のブロックを解除し、解除された画面全体のブロックを選択します。
- **トリップ方向**：イベントとして見なすモーションの方向を選択します。イン側を選択すると選択エリアの外側から内部にモーションが発生する場合、アウト側を選択すると選択エリア内部から外部にモーションが発生する場合、イベントとして見なされます。
- **決定**：変更されたブロック設定を保存し、エリア設定メニューから出ます。
- **キャンセル**：変更されたブロック設定を保存せず、エリア設定メニューから出ます。

● **動作**：トリップゾーンを感知したときの動作を設定することができます。

- **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
- **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネルを選択することができます。
- **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやラン1~5、警告ウィンドウを設定することができます。
- **イベントアップロード**：イベント発生時、ビデオクリップをアップロードすることができます。
- **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
- **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。

● **トリップゾーン無視期間**：トリップゾーンイベントが感知された時間以降、一定の時間内に感知されたトリップゾーンイベントについてはイベントログおよび遠隔地通知機能を行いません。1秒~5秒または「しない」を選択することができます。

トリップゾーン無視期間は、トリップゾーン連動録画には影響を及ぼしません。

● **昼間設定**：昼間に指定する時間範囲を設定します。時間は15分単位で設定でき、指定した範囲外の時間は夜間に分類されます。

タンパーリング



● **番号**：タンパーリング感知機能を設定するカメラを選択/解除できます。

● **感度**：1(低感度)~5(高感度)の間の5段階に感度を変更することができます。

● **活性化時間**：タンパーリング感知をイベントとして見なすためのタンパーリングの継続時間を設定します。タンパーリングが感知されたあと設定された時間が続かない場合、これをイベントとして見なしません。

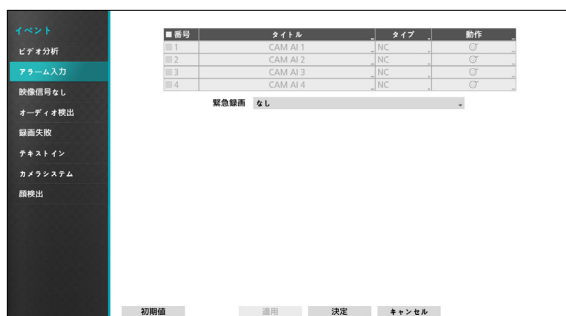
● **動作**：タンパーリングを感知したときの動作を設定することができます。

- **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定指定時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
- **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネルを選択することができます。
- **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやラン1~5、プッシュ、警告ウィンドウを設定することができます。
- **イベントアップロード**：イベント発生時、ビデオクリップをアップロードすることができます。
- **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
- **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。

● **無視時間使用**：時間設定...を選択し、タンパーリング感知無視時間帯を設定することができます。設定した時間にはタンパーリング感知機能が作動しません。

アラーム入力



- **番号**：アラーム入力を選択/解除できます。
- 本設定はネットワークカメラのアラーム入力を含めます。1~4番はネットワークカメラのアラーム入力チャンネルです。
- **タイトル**：キーボード入力ウィンドウからタイトルを入力することができます。
- **タイプ**：アラームの種類を変更することができます。
- **動作**：アラーム入力を感知したときの動作を設定することができます。
 - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
 - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネルを選択することができます。
 - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやラン1~5、プッシュ、警告ウィンドウを設定することができます。
 - **イベントアップロード**：イベント発生時、ビデオクリップをアップロードすることができます。
 - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
 - **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。
- コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。
- **緊急録画**を選択して連動するアラーム入力チャンネルを選択することができます。該当するアラーム入力が発生したら緊急録画が開始し、アラーム入力解除されると緊急録画も終了されます。

映像信号なし



- **活性化時間**：映像信号なしをイベントとして見なすための映像信号なしの継続時間を設定します。映像信号なしが感知されたあと設定された時間が続かない場合、これをイベントとして見なしません。
- **動作**：映像信号なしイベント発生時の動作を設定することができます。
 - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
 - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネルを選択することができます。
 - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやラン1~5、プッシュ、警告ウィンドウを設定することができます。
 - **イベントアップロード**：イベント発生時、ビデオクリップをアップロードすることができます。
 - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
 - **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。
- コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。
- **アナログカメラ**：アナログカメラへの映像信号なしを感知します。
 - **インターバルを無視**：映像信号なしが感知されてから、一定時間状態が継続された場合にイベントを発生させます。従って、映像信号なしが感知されても、設定した時間以内に再び映像信号が元通りになった場合はイベントとみなしません。0.1秒~15秒または**なし**を選択することができます。

- **無視時間使用**：時間設定...選択し、映像信号なしの感知無視時間帯を設定します。設定した時間には映像信号なしの感知機能が作動しません。

オーディオ検出



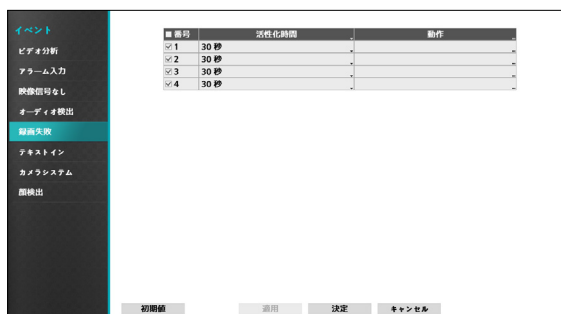
- **番号**：オーディオ検出機能を設定するカメラを選択/解除できます。
- **感度**：1(低感度)～5 (高感度)の間の5段階に感度を変更することができます。
- **活性化時間**：オーディオ検出をイベントとして見なすためにオーディオの継続時間を設定します。オーディオが検知されたあと設定された時間続かない場合、これをイベントとして見なしません。
- **動作**：オーディオを検知したときの動作を設定することができます。
 - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。

- **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネルを選択することができます。
- **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1～5、プッシュ、警告ウィンドウを設定することができます。
- **イベントアップロード**：イベント発生時、ビデオクリップをアップロードすることができます。
- **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
- **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。

- **インターバルを無視**：オーディオが検知された時間以降、一定の時間内に検知されたオーディオについてはイベントログおよび遠隔地通知機能を行いません。1秒～5秒またはしないを選択することができます。
- **無視時間使用**：時間設定…を選択し、オーディオ検出無視時間帯を設定することができます。設定した時間にはオーディオ検出機能が作動しません。

録画失敗



- **活性化時間**：録画失敗をイベントとして見なすための録画失敗の継続時間を設定します。録画失敗が感知されたあと設定された時間が続かない場合、これをイベントとして見なしません。
- **動作**：録画失敗を検知したときの動作を設定することができます。録画失敗を検知したときの動作を設定することができます。
 - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
 - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネルを選択することができます。
 - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1～5、プッシュ、警告ウィンドウを設定することができます。
 - **イベントアップロード**：イベント発生時、ビデオクリップをアップロードすることができます。
 - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
 - **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。

テキストイン



- **設定**：選択した番号のテキストインデバイスを設定することができます。



- ポート設定を除いたほかの設定を全てのテキストインデバイスに対して一度に行うことができます。
- 複数のチャンネルから大量のテキストインが入ってくると、システムの性能に影響を及ぼす可能性があります。
- **製品**：ポート設定の下部分が、そのテキストインデバイスに合うように設定ウィンドウが変更されて表示されます。現時の設定ウィンドウの内容は汎用テキストに関する設定内容です。
- **開始文字列**：開始文字列を設定すると、これに該当する文字列が入力される時、1つのトランザクションが開始したと認識します。開始文字列を任意の文字をもって開始として指定することができます。この場合、どんな文字が入力されても1つのトランザクションが始まったと認識します。

- **終了文字列**：終了文字列を設定すると、これに該当する文字列が入力される時、1つのトランザクションが終了したと認識します。終了文字列の隣に**0ライン追加**を選択し、1~10間の値に設定することができます。終了文字列に文字列が入力されたあと、ここで設定した追加ラインだけ入力されると1つのトランザクションが終わったと認識します。
- **改行文字列**：ラインの終わりを決定する文字列を入力することができます。コントロール文字は \r を押して \wedge に続く文字を選択すると入力することができます。例えば、Carriage Returnは $\wedge M$ であり、Line Feed(New Line)は $\wedge J$ になります。
- **無視文字列**：トランザクションを記録するとき除外される文字列を設定することができます。
- **大小文字区分**：開始文字列、終了文字列、改行文字列、無視文字列で設定した文字列が大小文字を区別するか否かを選択することができます。

コントロール文字の場合は、**大小文字の区分**には影響されません。

- **タイムアウト**：タイムアウト期間を設定すると、最後の文字列が入力されたあとに設定されたタイムアウト期間に新しい文字列が入力されなかったら、1つのトランザクションが終わったと認識します。5秒~15分まで設定できます。

ポートをUSB-Serial 1~8、LAN 1~16の中から一つを選択するとき、ポート設定ボタンが有効化されます。**設定ボタン**を押して**ボーレート**、**データ**、**ストップビット**、**パリティ**値を正しく設定してください。

- ポートをLAN1~16に選択する場合、ポート設定ボタンを押してネットワークポート値を設定します。
- USB-シリアルポートを使用する場合、システム駆動中、USBケーブルを取り外すとテキストイン機能に誤作動が発生することがあります。

- **件名**：テキストインデバイスのタイトルを決めることができます。
- **動作**：テキストインが発生したときの動作を設定することができます。
 - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
 - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネルを選択することができます。
 - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1~5、プッシュ、警告ウィンドウを設定することができます。
 - **イベントアップロード**：イベント発生時、ビデオクリップをアップロードすることができます。
 - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
 - **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。

カメラシステム

FANが装着されたカメラでFANの動作が止まった場合に発生するイベントです。



- **番号**：ファン異常検出機能を設定するカメラが選択/解除できます。
- **動作**：ファンエラーが発生したときの動作を設定することができます。
 - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
 - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネルを選択することができます。
 - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1~5、プッシュ、警告ウィンドウを設定することができます。
 - **イベントアップロード**：イベント発生時、ビデオクリップをアップロードすることができます。
 - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
 - **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

- コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。
- カメラシステムイベントに対応しないカメラの場合、その機能は非活性化されます。

顔検出

選択したカメラで顔検出イベントが発生したとき、顔が検出されるエリアが画面上に表示されます。



- **番号**：顔検出機能を設定するカメラが選択/解除できます。
- **感度**：1(低感度)~5 (高感度)の間の5段階に感度を変更することができます。
- **最大検出数**：8または32個に最大検出数が設定できます。

最大検出数を32個に変更する場合感度機能が非活性化されます。

- **最小顔サイズ**：120x120、150x150、180x180、210x210、240x240に最小顔サイズが設定できません。
- **動作**：顔検出が発生したときの動作を設定することができます。
 - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
 - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネルを選択することができます。
 - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1~5、プッシュ、警告ウィンドウを設定することができます。

- **イベントアップロード**：イベント発生時、ビデオクリップをアップロードすることができます。
- **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。
- **イベントモニタリング**：イベント発生時、監視するカメラを選択できます。

- コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。
- 顔検出イベントに対応しないカメラの場合、その機能は非活性化されます。

- **インターバルを無視**：顔が検出された時間以降、一定の時間内に検出された動きについてはイベントログおよび遠隔地通知機能を行いません。1秒~5秒または「しない」を選択することができます。

イベントアップロード設定

設定メニューの使い方は [メニューの使い方 ページ 28](#) をお読みください。

スケジュール



スケジュールリストの左下にある+を選択し、イベントスケジュールを追加することができます。

- **曜日** : スケジュールは曜日別を選択することができます。
- **範囲** : スケジュールする時間帯を変更することができます。
- **イベントアップロード** : イベント発生時、ビデオクリップをアップロードすることができます。

- イベントアップロード機能を使用するためには、NetFS設定やFTPサイトをあらかじめ登録しておく必要があります。

FTP



FTP機能を設定すると、イベント発生時にFTPサイトにイベントが感知されたイメージまたはビデオクリップをアップロードすることができます。画面の左下にある+を選択し、FTPサイトを追加することができます。

- **FTP** : スクリーンキーボードを利用してFTPサイト情報を入力することができます。
- **アップロードファイル** : FTPサイトにアップロードするファイルフォーマットを選択することができます。

- FTPサイトは最大5つまで登録することができます。
- FTPサイトを追加するためには、NetFS設定されていなければなりません。

+を選択しFTPサイトを登録します。

FTP通知 1

サイト

アップロードファイル

サイト情報

アドレス

リモートパス

ユーザー

- **サイト**：登録されているFTPサイトのリストが表示されます。リストからFTPサイトを選択します。NetFSサイトの**使用設定**が**すべて**、または**バックアップ**以外の設定になっている場合、そのFTPサイトを選択することはできません。ネットワーク-NetFS設定画面で**使用設定**を変更したり、他のFTPサイトを登録したりすることができます。
- **アップロードファイル**：CBFまたはMP4を選択することができます。CBFを選択する場合、イベントが感知されたビデオクリップをFTPサイトにアップロードします。MP4を選択する場合、イベントが感知された映像ファイルをFTPサイトにアップロードします。

- ☑ FTP通知機能を正しく作動させるためには、ネットワーク-NetFSで**使用設定**、イベント-動作で**イベントアップロード（FTP通知）**設定を行う必要があります。
- ネットワーク-NetFS設定画面でFTPサイトを削除すると、通知-FTP設定画面でも該当するFTPサイトが削除されます。
- 短い時間にたくさんのイベントが発生した場合、ビデオクリップがFTPサイトにアップロードされないことがあります。
- システムイベントには対応しません。
- アップロードが数回失敗すると、そのビデオクリップは削除されます。
- NVR起動時にアップロードされなかったビデオクリップはすべて削除されます。

装置の設定

設定メニューの使い方は[メニューの使い方 ページ 28](#)を参照ください。

アラーム出力



スケジュールリストの左下にある+を選択し、スケジュールを追加することができます。

スケジュールは**曜日別**に選択することができます。

☒アイコンを選択してスケジュールを削除することができます。

- **出力時間**：5秒から15分まで設定することができます。アラーム出力はここで設定された時間の間に作動します。
- **範囲**：スケジュールする時間帯を変更することができます。
- **モード**：**イベント**、**オン**、**オフ**を選択することができます。

イベント	イベントに連動しアラーム出力が発生します。
オン	アラーム出力が常にオンになります。
オフ	アラーム出力が常にオフになります。

☑ 本製品は、NVRのアラーム出力チャンネル、ビーブ機能はサポートしていません。

- **チャンネル**：アラーム出力に使用するポートを設定することができます。

ネットワーク設定

設定メニューの使い方は [メニューの使い方 ページ 28](#) を参照ください。

一般



- **遠隔オーディオチャンネル**：選択したチャンネルのオーディオが遠隔プログラムに伝送されます。**クライアントから選択**を選択すると、遠隔プログラムで選択されたチャンネルのオーディオが伝送されます。

オーディオを伝送するときネットワーク環境によって途中で途切れることがあるため、音声との同期が合わないことがあります。

- **データ伝送するためのSSLを適用**：遠隔監視または遠隔録画のために伝送されるデータにSSL(Secure Sockets Layer)認証を利用したセキュリティ機能が適用されます。

SSL機能を使用するとき、SSL機能に対応しない遠隔プログラムまたはネットワークキーボードでは本NVRに接続することができません。

- SSL設定を変更すると、これを適用するためにNVRへの接続が一時的に途切れます。
- 本製品には、Open SSL Toolkitに使用される目的でOpenSSL Projectで開発した内容が含まれています (<http://www.openssl.org/>)。

- **IDISウェブガード**：IDISウェブガードを使用するためには、**IDISウェブサービス使用**を選択してください。**IDISウェブポート**を選択し、IDISウェブへの接続に使用するポート番号を1024から65535の間の値で設定することができます。IDISウェブに関する詳しい内容は [第4章 - IDIS Web ページ 94](#) を参照ください。

- **DirectNDC**：DirectNDC (Direct Network Display & Control)サービスをご使用になるためには、**DirectNDC使用**を選択してください。DirectNDCサービスとは、ネットワークを通じて遠隔地のPCやモバイルデバイスからNVRに接続して制御する機能を言います。

- **ポート**：**ポート**を選択し、DirectNDCサーバーのポート番号を設定することができます。
- **パスワード**：**パスワード**を選択し、遠隔地からNVRに接続する際のパスワードを設定することができます。

DirectNDCサービスを利用して遠隔から接続できる人数は最大3人までです。

- **ネットワーク幅制限**：制限したいバンド幅を設定します。

ネットワークバンド幅制限を設定する場合、遠隔監視映像が途切れる場合があります。

遠隔地からNVRを制御するときにキーボードを使用する場合、ショートカットキーの機能は下記の通りです。

Key	機能
←	メニュー上で左方向に移動します。
→	メニュー上でも右方向に移動します。
↑	メニュー上でも上方向に移動します。
↓	メニュー上でも下方向に移動します。
Enter または Return	メニュー設定時に項目を選択したり、入力事項を登録したりするときに使用します。
入力文字、Delete、Backspace、Space	キーボードと同様な入力機能があります。

Esc	キーボードの入力と同様のEscape動作を行います。
F1	緊急録画を行います。
F2	アラームが作動する間に内部ブザーを含めたNVRの出力をリセットします。
F3	PTZモードを開始します。
F4 または PageUP/ PageDown	分割画面フォーマットを切り替えます。
F5	DirectNDC出力画面を更新して再び表示されます。
F6	検索モードに切り替わります。
F10 または ウィンドウズ	画面にリアルタイム監視メニュー、または検索メニューを表示させます。
Home	バックアップを行います。

WAN (IPアドレス)

IPアドレスの種類を手動、DHCPに選択することができます。

手動

- **タイプ**を手動に選択してください。

手動を選択した場合、手動で設定することができます。IPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクの各項目を選択したあと、スクリーンキーボードの方向ボタンで数字を増減させて設定します。

- **DNSサーバー**：DNSサーバーのIPアドレスを入力します。
- **遠隔ポート**：遠隔地プログラムで接続するために使用するポートです。
- **遠隔コールバック**：遠隔地へのコールバックするために使用するポート番号を設定した項目です。

- **Pingテスト**：現在設定されてる値でWAN接続ができているかをテストします。

- 1 NVRのIPアドレスを入力してください。
- 2 Pingテストの回数を設定してください。
- 3 **テストスタート**ボタンを押してテストを行ってください。テストの結果が表示されます。
- 4 **閉じる**を押して設定を終了してください。

- ポート変更はファイアウォールなどを使用する場合、ファイアウォールで許容されるポート番号を変更するときに使用します。
- ポートを変更すると、NVRへの遠隔接続が一時的に途切れます。

! 遠隔プログラムの遠隔地点IP/ポート設定も同様に変更しなければ遠隔プログラムから接続ができません。

- **UPnP**(Universal Plug and Play、ユニバーサルプラグアンドプレイ)サービスを使用するためには、**UPnP使用**を選択します。UPnPサービスを利用してIPルーター(あるいはNAT)を使用するとき、そのデバイスからNVRへのポートフォワーディングを自動的に実行することができます。



- 本機能はプライベートIPアドレスで構成されたポートに接近するときに活用されます。
 - UPnPサービスを使用するためには、使用するIPルーター(あるいはNAT)がUPnPポートフォワーディング機能に対応する必要がある、この機能が使用可能な状態になっていなければなりません。
 - **UPnP使用**を選択すると、ポート番号は変更することができません。
- **状態** : UPnPサービスを利用してIPルーター(あるいはNAT)でNVRにフォワーディングされたポート番号が表示されます。

DHCP



DHCPを選択して**適用**を押すと、DHCPサーバーからIPアドレスなどのネットワーク情報を自動的に割り当てられます。ネットワーク情報が割り当てられると、IPアドレス項目にNVRの現在のIPアドレスが表示されます。



- DHCPを使用する場合、ネットワーク内にDHCPサーバーが必要です。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- DHCP設定を使用する場合、NVRのIPアドレスはNVRが起動されるたびに変更されることがあります。



遠隔接続のとき、同時に接続できる回線には制限があります。詳細は、販売店までお問い合わせください。

FEN

FENサービスは流動IPを使用するNVRを遠隔管理プログラムで接続するとき、流動IPやルーター設定などを気にすることなく簡単に接続できるようにする機能です。



- **FENを使用**：FENサービスを使用する場合はチェックしてください。
- **FEN名前**：FENサーバーに登録されるNVRの名前を入力したあと検査して登録してください。FENサーバーに登録されるNVRの固有名です。

- ☑ FEN名前項目の確認ボタンをクリックし、入力されたFEN名前が使えるかどうかを確認しない場合FEN設定を保存することができません。
- FEN名前を入力しなかったりFENサーバーにすでに登録されている名前を入力したりすると、エラーメッセージが表示されます。
- FEN名前に#、¥、%の記号が含まれている場合、ウェブビューアプログラムでNVRにアクセスする時にアクセスができないことがあります。

- **FENサーバー**：FENサーバーのIPアドレスやドメイン名を入力することができます。

- ☑ **ネットワーク-WAN**設定でDNSサーバーを設定した場合、**FENサーバー**項目にFENサーバーのIPアドレスの代わりにドメイン名を入力することができます。

- **ポート**：FENサーバーのポート番号を設定することができます。

- ☑ IPルーター(あるいはNAT)を使用する場合、ポート設定などのネットワーク機能はIPルーター(あるいはNAT)の使い方に従います。

- **状態**：FENサーバーに登録したデバイスの状態を確認することができます。


設定を変更した後**適用**を選択すると、NVRのFEN名前がFENサーバーに登録されます。


- ☑ FEN設定が正常に行われた場合、再びFEN設定画面に入るときに**ヘルプ**項目にFENサーバーのヘルプに関する情報が表示されます。


NetFS

下記の機能を使用するためには、FTPサイトを登録する必要があります。

- FTPサイトにアップグレード/設定ファイルインポート（エクスポート）/ログエクスポート/自己診断エクスポート/印刷用ファイルをアップロードしたり、FTPサイトから直接ダウンロードすることができます。設定の仕方は下記の通りです。

：監視モードの （設定）メニュー→システム→一般→アップグレード/インポート/エクスポート/システムログ→自己診断エクスポート


：監視モードの （設定）メニュー→システム→自己診断エクスポート


：検索モード （プリント）メニュー

- FTPサイトにクリップファイルをアップロードすることができます。設定の仕方は下記の通りです。

：検索モードの （エクスポート）→A-Bバックアップまたはバックアップ

- イベント感知のFTPアップロード（システムイベントを除く）することができます。設定の仕方は下記の通りです。

：監視モードの （設定）メニュー→イベントアップロードメニュー→FTPタブ→FTP設定

：監視モードの （設定）メニュー→イベントメニュー→アクション→イベントアップロード（FTP）設定

- FTPソリューションとしては、FileZillaまたはsmallFtpのご使用をお勧めします。
- 本機能はFTPサイトのPASV（手動モード）のみ対応します。



NetFS機能を使用するためには、**NetFS使用**を選択してください。

設定ウィンドウの左下にある+アイコンを選択し、FTPサイトを追加することができます。（最大16個）

- **タイトル**：スクリーンキーボードを利用してNetFSサイトの名前を入力することができます。
- **使用**：NetFS機能の用途を設定することができます。
 - **N/A**：NetFS機能を使用しません。
 - **ALL**：すべてのNetFS機能を使用します。
 - **アップグレード**：NetFSサイトにアップロードされたアップグレードファイルを使用します。
 - **設定**：NetFSサイトにアップロードされた設定ファイルを使インポートしたり、エクスポートしたりします。
 - **システムログ**：NetFSサイトにシステムログを保存します。
 - **バックアップ**：NetFSサイトにビデオクリップを手動で保存したり、イベントが感知されたビデオクリップを自動で保存します。
 - **印刷**：NetFSサイトにイメージをPDFファイルで保存します。

- **サイト** : NetFSサイト情報を入力することができます。

- ネットワーク-NetFS設定画面でFTPサイトを削除すると、イベントアップロード-FTP設定画面でも該当するFTPサイトが削除されます。
- FTPサイトの使用をALLまたはバックアップ以外の設定に変更する場合、FTP通知機能が非活性化されます。
- 各項目の右側の アイコンを押すと、NetFSサイトを削除することができます。

スクリーンキーボードを利用し、NetFSサイトの情報を入力します。情報を入力したあと、**テスト**ボタンをクリックすると、設定したNetFSサイトの情報が正しいかテストを行います。

- **アドレス** : スクリーンキーボードを利用し、NetFSのアドレスを入力します。
- **ポート** : NetFSサイトへ接続するためのポートを設定します。
- **リモートパス** : スクリーンキーボードを利用し、NetFSサイトのフォルダの経路を入力します。
- **ユーザー、パスワード** : スクリーンキーボードを利用し、NetFSサイトへ接続するためのユーザーやパスワードを入力します。
- **テスト** : 情報を入力したあと、**テスト**ボタンをクリックすると、設定したNetFSサイトの情報が正しいかテストを行います。

RTSP

RTSP(Real-Time Streaming Protocol)、リアルタイムストリーミングプロトコルサービスを使用して、リアルタイム監視ができる機能です。

- RTSPサービスに対応するメディアプレーヤーを通じて遠隔地からNVRに接続してリアルタイム映像を監視することができます。接続の方法は次の通りです。
 - PCを通じての接続: メディアプレーヤー(VLCプレーヤー等)を実行した後rtsp://ID:パスワード@IPアドレス:RTSPポート番号/trackID=カメラのチャンネル番号&streamID=stream番号を入力 (ex: rtsp://admin:@10.0.152.35:554/trackID=1&streamID=2)
- 一部のメディアプレーヤーではネットワークの状態により連続的な映像再生が円滑にいかない場合があります。
- RTSPサービスは、使用しているメディアプレーヤーの種類によってサポートできない場合があります。

通知設定

スケジュール

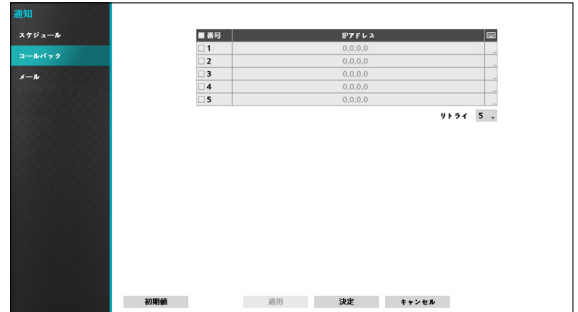
スケジュールリストの左下にある+アイコンを選択し、通知スケジュールを追加することができます。



- **曜日**：曜日別に選択することができます。
- **範囲**：イベント通知時間帯を変更することができます。
- **通知**：イベントを感知したときに実行される通知を選択することができます。**メール**、**LAN1~5**、**プッシュ**、**警告ウィンドウ**などを設定することができます。
- コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。
- 設定されたスケジュールの右側の✕アイコンを押すと、設定されたスケジュールを削除することができます。
- **サマリーEmail伝送間隔**：決められた時間ごとに、イベントの内容を要約したメールを遠隔地に伝送します。

コールバック

遠隔地へのコールバック機能を設定することができます。



コールバックを受信するサーバーのIPアドレスを設定し、NVRが遠隔接続に失敗したとき、**リトライ**する回数を1回から10回まで選択することができます。

メール

遠隔地へのメール機能を設定することができます。



設定ウィンドウの左下にある+アイコンを選択し、メールアカウントを追加することができます。


受信人を選択し、メールアドレスおよびメールサーバーを設定します。


受信人 1

手動

決定 キャンセル

- 受信人のメールアドレスは必ず@を含む、正しい電子メールのアドレスを入力しなければなりません。

設定されたメールアカウントの右側の  アイコンを選択すると、そのアカウントにメールを送信するときにイベント映像が添付されます。

設定されたメールアカウントの右側の  アイコンを押すと、設定されたアカウントを削除することができます。

MP4クリップを選択すると、メールを送信するときにイベント映像が添付されます。

- カメラが発生させるイベントに関する映像だけが添付されます。画面下のMP4クリップをチェックすると、MP4動画クリップが添付されます。

SMTPを設定する

メールアカウント設定ウィンドウの右上にSMTP設定を選択し、SMTPサーバーを設定することができます。

- SMTPサーバーの**タイプ**を選択してください。
- SMTPサーバー**のIPアドレスまたはドメインネーム、SMTPサーバーの**ポート**番号、**発信人**を設定してください。

SMTP設定

タイプ

SMTPサーバー

ポート

SSL/TLS使用

認証

発信人 テスト

初期値 決定 キャンセル

SMTPサーバーのポート番号の初期値は**25**です。**テスト**を選択すると、現在設定されたアドレスにメールが送信されテストすることができます。**SSL/TLS使用**を選択すると、SSLアクセスを要求するSMTPサーバーを使用することができます。

- ネットワーク-WAN**設定でDNSサーバーを設定した場合、**SMTPサーバー**項目にSMTPサーバーのIPアドレスの代わりにドメイン名を入力することができます。
- 発信人**には必ず@を含む、正しい電子メールのアドレスを入力しなければなりません。

SMTPサーバーにユーザー認証が必要な場合**使用**を選択し、ユーザー認証を使用するかどうかを選択したあと、**ユーザー名とパスワード**を設定します。

認証

使用

ユーザー

パスワード

決定 キャンセル

- 決定**を押して設定を終了してください。

- 本製品には、Open SSL Toolkitに使用される目的でOpenSSL Projectで開発した内容が含まれています (<http://www.openssl.org/>)。

ディスプレイ設定

設定メニューの使い方は[メニューの使い方 ページ 28](#)を参照ください。

OSD



OSD(On Screen Display)情報を画面下に表示するように設定することができます。



状態について

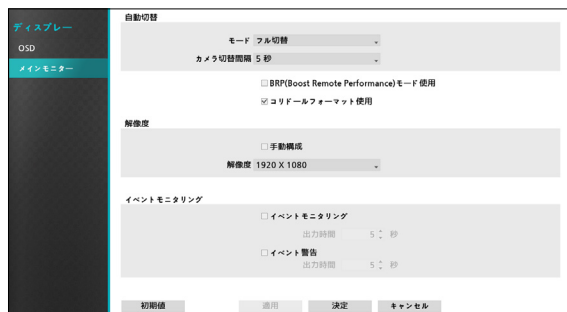
日付、時間：日時と時間が表示されます。

カメラについて

- **番号**：カメラ番号がカメラ画面の左上に表示されません。
- **タイトル**：カメラタイトルがカメラ画面の左上に表示されます。
- **録画**：録画やスケジュールに関するアイコンが表示されます。
- **オーディオ**：該当するチャンネルのオーディオを出力しているときは、アイコンが表示されます。
- **PTZ**：カメラがPTZカメラに設定されていると、アイコンを表示します。
- **PTZ拡大**：カメラがPTZカメラに設定されていれば、拡大モードにおける拡大の倍率を示します(x2、x3など。)
- **テキストイン**：テキストインデバイスから入力される文字列が表示されます。**表示期間**を選択し、テキストイン文字列が画面に表示される表示期間を設定することができます。テキストイン文字列は単一画面のときだけに表示されます。
- **解像度(検索)**：再生モード画面に録画解像度が表示されます。

メインモニター

モニターに関する設定を行うことができます。



- **モード**：フル切替を選択します。
- **カメラ切替時間**：3秒～2分まで設定できます。自動切替については④ [自動切替 ページ 21](#)を参照ください。
- **BRP(Boost Remote Performance)モード使用**：BRPモードが設定されると、リアルタイム監視モードでは全カメラのライブ映像が表示されなくなり、ネットワークバンド幅制限が100Mbpsに向上します。
- **コリドールフォーマット使用**：画面を3画面に分割することができます。本フォーマットは横より縦のほうが長く出力されるため、カメラの回転機能を使用するとき、カメラの最適化された映像を出力するために設定されたフォーマットです。本機能を使用すると、廊下や通路など細長い空間を監視するとき、より効果的に監視することができます。（本機能は32チャンネルでは対応しません。）
- **手動構成**：モニターの解像度情報に関わらず、ユーザーが解像度を手動で設定することができます。
- **解像度**：1920 x 1200、1920 x 1080、1680 x 1050、1600 x 1200から設定することができます。
- **イベントモニタリング**：イベントモニタリングが設定されると、イベント発生時にイベント連動録画がされるカメラ画面を表示します。イベントモニタリングに関しては[イベントモニタリング機能 ページ 25](#)を参照ください。

- **イベント 警告**：イベント警告が設定されると、イベント発生時のイベントモニタリングが連動されているカメラ画面の上段に赤い線が表示されます。



- モニターによって対応できる解像度が制限されることがあります。
- 1920 x 1080の解像度を使用することをお勧めします。

状態設定

設定メニューの使い方は[メニューの使い方 ページ 28](#)を参照ください。

イベント

全てのイベントの状態を確認することができます。
イベントが発生したチャンネルは5秒間点滅します。



- **ディスクフル警告/ディスクフル**：HDDが上書きの状態ではない場合、**システム監視**設定で指定したディスクの割合に達したとき、更に100%になったときにイベント状態が表示されます。詳しい内容は[モニタリング ページ 36](#)を参照ください。
- **ファンエラー**：クーリングファンの回転数が一定のレベルに達しなかったり、約50秒以上作動しない場合、イベント状態が表示されます。
- **ディスク構成変更**：HDDを交換してシステムを再起動したときに発生するイベントです。
- **保存デバイスなし**：録画可能なHDDが存在しない場合に発生するイベントです。

イベント項目

	モーション		トリップゾーン
	タンパーリング		アラーム入カ
	映像信号なし		オーディオ検出
	録画失敗		テキストイン
	アラームインを確認		ファンエラー
	顔検出		

- **緊急録画**：現在緊急録画の使用状況によってイベント状態が表示されます。
- **録画を確認**：この項目は**システム監視**設定によってイベント状態が表示されます。詳しい内容は[モニタリング ページ 36](#)を参照ください。

HDD

各ディスクの状態を表示します。

タイプ	ディスクエラー	温度	S.M.A.R.T.
内蔵 1	良好 (0%)	良好 (33℃)	良好

録画データ

開始 2018-04-10 10:31:37
終了 2018-04-10 10:32:02

閉じる

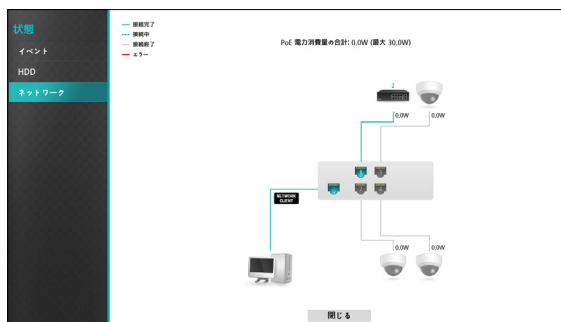
設定>システム>モニタリングでディスクエラー、ディスク温度設定を行うことができます。

ディスクエラー	初期化されていません	使用したことのないディスク
	良好	<ul style="list-style-type: none"> 正常に動作しているディスク HDDの一部が損傷しているとき、その割合が表示される
	エラー	<ul style="list-style-type: none"> HDDの損傷の割合がユーザーの設定した割合より多い場合 システムイベント発生
温度	N/A	温度が感知できないディスク
	良好	正常な温度の場合は温度が表示される
	不良	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーが設定した温度以上の場合 システムイベント発生
S.M.A.R.T.	N/A	S.M.A.R.T.機能に対応しないディスク
	良好	S.M.A.R.T.状態が正常な場合
	不良	S.M.A.R.T.状態が異常であり、ディスクが24時間以内に損傷する可能性のある場合

録画データ項目で各ディスクのデータ保存時間情報を確認することができます。





ネットワーク

ネットワーク全体の状態をリアルタイムで表示するメニューは、次のとおりです。




表示される情報は、カメラ接続の有無、LANポートリンクの状態、電力使用量、接続されているクライアントの台数、ネットワーク情報の詳細な説明は次のとおりです。

カメラ接続有無	<p>カメラが接続されている場合には 、接続がされていない場合には で表示されます。</p> <p>イメージをクリックすると、カメラのチャンネル番号を確認することができます。</p>
ネットワークスイッチ接続有無	<p>LANポートにネットワークスイッチが装着されている場合には と表示され、接続されているカメラの総数も表示されます。イメージをクリックすると、カメラのチャンネル番号を確認することができます。</p>
ビデオエンコーダー接続有無	<p>LANポートにビデオエンコーダーが接続されている場合には と表示され、接続されているカメラの総数も表示されます。イメージをクリックすると、接続されているカメラのチャンネル番号を確認することができます。</p>
LANポートリンクの状態	<p>接続されたカメラ、あるいはネットワークスイッチのない場合には 、接続されている場合に が表示されます。</p>

<p>電力使用量</p>	<p>NVRから電力が供給されている場合にはカメラアイコンの下に4.0Wのように実際に使用されている電力量が表示され、電力消費量の合計は最上部に下記のように表示されます。</p> <p>] PoE 電力消費量の合計: 0.0W (最大 30.0W)</p> <p>1~4ポートはPoE電源が供給されるポートであり、 (VIDEO IN Ext.) および  (NETWORK CLIENT)ポートにはPoE電源が供給されません。</p>
<p>接続されているクライアントの台数</p>	<p>クライアントがネットワークを使ってNVRに接続されているかどうか、接続されている場合何台のクライアントが接続されているかを表示します。</p> <p>クライアントが接続される場合には 、接続されていない場合には  で表示されます。</p>
<p>ネットワーク情報</p>	<p>現在ネットワークに接続されているか、接続中であるか、接続が解除されているか、エラーが発生しているかの情報を下図のような色で区分して表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> — 接続完了 - - - 接続中 — 接続終了 — エラー

第3章-検索

タイムラプス検索

リアルタイム監視モードで**検索モードアイコン**  を選択し、**タイムラプス検索**、**イベントログ検索モード**、または**サムネイル検索モード**を選択して実行することができます。

2FA機能を使用するとき、登録されたモバイルデバイスの認証をしないと、検索メニューに入ることができません。[Use 2FA ページ 35](#)を参照ください。

検索メニュー



① レイアウト

画面のレイアウトを単一画面、3画面 (Corridor Format)切り替えます。3画面(Corridor Format)を使用するためには、ディスプレイ設定-メインモニターのコリドール フォーマットを選択しなければなりません。

② 前画面グループ/次画面グループ

現在の画面グループから前画面グループ、または次画面グループに移動します。

③ ディスプレー

- **OSD ON/OFF** : OSD機能を有効化、または無効化します。
- **比率維持ON/OFF** : ONに設定すると、映像オリジナルの比率でカメラ画面の領域に合わせて映像を出力します。

④ アラーム

アラームが動作している間、内部ブザーを含むNVRのアラーム出力をリセットします。

⑤ データベース

- **録画** : 本装置の保存デバイスに録画されたデータを検索することができます。
- **外部** : 他装置で使用していたディスクを接続すると、録画されているデータを検索することができます。
- **部分削除** : 個人情報を保護するため、録画されたデータの中から一部区間の映像を削除することができます。

⑥ 緊急録画

緊急録画機能を使用できます。

⑦ カメラ

カメラチャンネルを選択し、そのチャンネルを単一画面に切り替えます。

⑧ 監視モード

リアルタイム監視モードに切り替わります。

⑨ 検索モード

タイムラプス検索/イベントログ検索を変更して検索します。



① ブックマーク

- アイコンを選択すると、現在の再生位置をブックマークに登録します。
- タイムラプス検索モードの画面右側のブックマーク設定ウィンドウで特定のブックマークを選択し、登録された再生位置に移動することができます。
- ブックマークリストを選択し、アイコンを選択してそのブックマークを削除することができます。

ブックマークは12件まで保存できます。

② 再生ボタン

映像を再生・探索することができます。

• ジョグシャトル

再生方法および速度を調節することができます。

ジョグシャトルの縦の表示線は、現在の再生方向や速度を表します。縦の表示線が中央から右方向にあれば映像を正方向に再生し、左側にあると逆方向に再生します。縦の表示線が中央から遠くなるほど再生速度が速くなります。縦の表紙線をクリックし、ジョグシャトルをマウスでドラッグすることで映像の再生速度を調節することができます。マウスボタンを離すと縦の表示線が中央に戻り、映像再生が止まります。

• 低速再生

再生速度を遅くして検索することができます。(x1/2、x1/3、x1/4、x1/6、x1/8)の低速再生の速度を設定し、再生ボタンを押すと設定した倍速で映像が再生されます。

③ カレンダー検索

特定の日付の映像をカレンダー検索で探すことができます。

録画された映像がある日付は水色で表示されます。日付を選択すると、その日付のもっとも早い時間に録画された映像が静止画の状態が表示されます。選択された日付はオレンジ色で表示されます。

④ イベント検索

イベント検索を選択すると、モーション検索やテキストイン検索を実行することができます。

- **モーション検索**：モーション検索を実行します。(この機能は単一画面のみに対応します。)
- **テキストイン検索**：テキストイン検索を実行します。

⑤ 移動

日付と時間で録画映像を検索することができます。移動する日付/時間を設定して移動を押すと、検索にヒットした録画映像に移動します。



右側の (ブックマーク) ボタンを選択すると、保存されたブックマークの位置に移動することができます。

⑥ バックアップ

- **ツータッチクリップコピー**：任意の2つの位置を指定して両位置間のデータをコピーすることができます。
- **バックアップ**：バックアップの設定ウィンドウが表示され、開始と終了時刻をデータの最初と最後に設定したり自由に調節したりすることができます。

⑦ 印刷

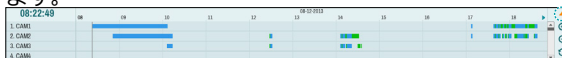
現在の映像をPDFファイルとして保存することができます。

⑧ 拡大

映像を拡大することができます。

⑨ 録画テーブル

現在の画面に表示されるチャンネルの録画情報を表します。



検索ウィンドウ上段に録画された日付/時間情報が表示されます。録画テーブルの灰色の縦の線は現在の再生位置を表します。マウスで再生位置を自由に移動させることができます。



- 録画テーブルで後方に表示されるほど、最新のデータです。
- システム時間を過去の時間に変更して録画すると、同じ時間帯に1つ以上の映像が存在することがあります。重なる時間帯は黄色い線で区分された録画テーブルに表示されます。

タイムラプス検索ウィンドウの右上の▲または▼を選択すると検索ウィンドウの大きさが変更され、全体チャンネルまたは最小限のチャンネルだけが確認できます。

最小の大きさのタイムラプス検索ウィンドウでは、スクロールを利用して表示されていない他のチャンネルの情報まで確認できます。

⊕ (拡大表示) を選択すると録画情報が1分単位の区間で構成され、⊖ (縮小表示) を選択すると録画情報が3分単位の区間で構成されます。縮小表示を選択すると、拡大表示よりもっと多くの時間を一つの画面で見ることができます。

画面に表示される日付や時間より以前または以後の録画データが存在する場合、日付/時間情報を表示するウィンドウの両側にスクロールバーが表示されます。スクロールをマウスでクリックしてドラッグし、選択した録画データの情報を確認することができます。

🔄 (リロード) を選択するたびに、最新にアップデートされた録画情報が確認できます。



録画データの棒グラフの色

青色	タイムラプス録画
紫色	イベント録画
黄色	プリイベント録画
赤色	緊急録画
緑色	- デバイス接続の一時中断による異常な録画 - スマートフェイルオーバー録画

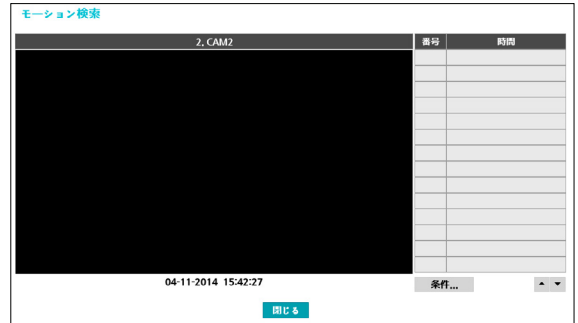
コンテキストメニュー

カメラ画面で、マウスの右クリックでコンテキストメニューを実行することができます。

- **拡大**：映像を拡大することができます。
- **オーディオ**：オーディオ再生をON/OFFできます。録音されたオーディオの再生は、全体画面で再生したときだけが可能です。
- **テキストイン表示/非表示**：録画映像にテキスト入力情報がある場合、テキスト入力情報を映像と一緒に表示したり、非表示したりすることができます。
- **グループ編集**：グループ編集では、分割画面上でカメラの位置が変更できます。

モーション検索

検索メニューで**モーション検索**メニューを選択すると、モーション検索設定ウィンドウが表示されます。



モーション検索機能は分割画面モードでは実行できません。単一画面モードで選択してください。

条件...を選択すると、モーション検索で検索する条件を決めることができます。



- **開始**で**始め**を選択すると、保存されているデータの中で最初の時刻に設定され、**終了**で**終わり**を選択すると保存されているデータの中で最後の時刻に設定されます。**始め**や**終わり**のチェックを解除し、検索する期間を直接指定することができます。

- **タイプ**：**モーション検索**は直前の映像と比較して選択されたエリアでの変化を探します。つまり、継続的な変化にも関わらず、変化がとても遅い場合は検索されません。一方で、**オブジェクト検索**は**開始**に設定されたときの映像と比較し、選択されたエリアでの変化を見つけます。よって、とても遅い変化であっても**開始**で設定されたときと比較し、ある程度の変化は感知されます。

- **エリア**設定はシステム構成-モーション感知設定でエリアを設定する方法と同じです。詳しい内容は**モーション ページ 57**を参照ください。

オブジェクト検索の検索**エリア**を設定する場合、物体の端の部分を検索領域に含むと正しく検索されない場合があります。正確な検索のために、物体の輪郭の内側を感知エリアに設定してください。

- **感度**：1(低感度)~5 (高感度)の中から設定することができます。
- **ミニマムブロック**：**ミニマムブロック**設定はモーション検索だけで使用することができます。

条件設定が終わったら、**検索**を押してください。検索結果項目を選択すると、左側に映像が表示されます。映像を再生するためには、**閉じる**ボタンを押して設定ウィンドウを閉じてください。

テキストイン検索

検索メニューで**テキストイン検索**を選択すると、テキストイン検索ウィンドウが表示されます。



特定**トランザクション**を選択すると、選択された日付と時間に該当する映像が静止画の状態に表示されます。

- 1倍速の再生時には画面にテキストイン情報が重なって表示されますが、他の速度で再生すると表示されません。

左下の**条件...**を選択すると、テキストイン検索で検索する条件を決めることができます。



- **開始**で**始め**を選択すると、保存されているデータの中で最初の時刻に設定され、**終了**で**終わり**を選択すると保存されているデータの中で最後の時刻に設定されます。**始め**や**終わり**のチェックを解除すると検索する期間を直接変更することができます。

- **チャンネル**：検索するテキストインチャンネルを選択することができます。
- **テキストインデバイス**を選択し、テキストインデバイスのタイプを選択することができます。
- **+ボタン**：検索変数設定を追加することができます。
- **大小文字区分**：大小文字の使用設定ができます。
- **読込**：保存しておいた検索条件の設定値を読み込むことができます。
- **保存**：現在の検索条件の設定値を保存することができます。

設定が終わり**検索**を押し、検索を実行したあと、**テキストイン検索**設定ウィンドウに戻ります。

バックアップ

バックアップ

検索メニューで**バックアップ-バックアップ**を選択すると、**バックアップ**設定ウィンドウが表示されます。**開始**と**終了**時刻をデータの最初や最後に決めたり、自由に設定したりすることができます。

ツータッチクリップコピー

任意の2つの位置を指定し、両位置間のデータをコピーすることができます。検索メニューで**保存-ツータッチクリップコピー**を選択すると、最初の位置が設定され、システムの右上のステータス情報ウィンドウに ▶ アイコンが表示されます。もう一度**保存-ツータッチクリップコピー**を選択すると、2番目の位置が設定されバックアップ設定ウィンドウが表示されます。指定した2つの位置の範囲が**開始**と**終了**時刻に自動設定されます。

- **チャンネル**：カメラの映像を保存するチャンネルを選択することができます。
- **パスワード**：保存したビデオクリップを再生するとき、パスワードを使用するか否かを選択し使用する場合はパスワードを設定してください。
- **メディア選択**：保存されるメディアを選択することができます。NetFS機能が使用中の場合、登録されているFTPサイトにビデオクリップをアップロードします。

- NetFSサイトにバックアップする場合、NetFSサイトのディスク容量を確認することができません。NVRは実際のディスク容量と関係なく30GBと表示 下に し、バックアップのためのファイルサイズは30GB以下に制限されます。ビデオクリップがコピーされた後にアップロードが失敗する場合、コピーされたビデオクリップは削除されます。同じファイルが存在する場合、ビデオクリップはコピーされません。

- **ファイル名**：保存するファイルの名前を設定してください。最大63文字まで入力できます。

- ファイル名には、¥、/、:、;、*、?、!、"、<、>、|などの文字は使用できません。

- **テキストインデータを含む**：録画映像にテキスト入力情報がある場合、テキスト入力情報を映像とともに保存します。
- **サイト名使用**：バックアップのファイル名にサイト情報を追加します。

バックアップのファイル名に場所情報を追加する場合、場所情報に使用された¥、/、:、;、*、?、!、"、<、>、|などの特殊文字は_に代替されます。

開始を押すと指定した保存範囲のデータ量が計算されて表示されます。容量を確認し、**続ける**を選択するとバックアップが始まります。バックアップが始まると、**キャンセル**を押してバックアップを取り消すことができ、**閉じる**を押して画面を消すことができます。**閉じる**を選択してもバックアップは続けられ、コピーが完了するとこれを確認するウィンドウが表示されます。

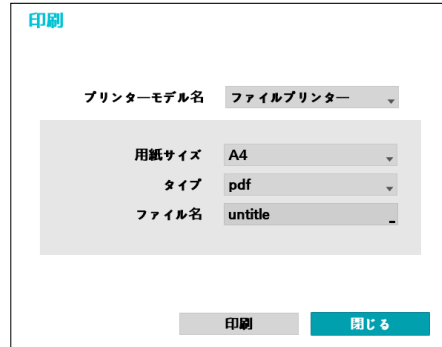
- ワンタッチバックアップモード**では保存されるドライブのメディア容量に合わせて保存範囲を自動的に設定します。選択したメディアに空き容量が足りない場合、空いている容量だけバックアップができます。
- 2GBを超える映像区間をバックアップする場合、システムが2GB単位に分けて保存します。
- バックアップで作成したファイルは、WindowsのPCで、すぐに再生することができます。再生方法に対する詳しい説明はIDIS Center（オプション）の取扱説明書を参照ください。
- USBフラッシュメモリはFAT32フォーマットのみに対応します。

警告 USB/バックアップの途中でUSBケーブルを取り外したり、USB装置の電源を切ったりしないでください。USBバックアップ中にケーブルが抜けたり装置の電源が切れた場合、NVRシステムが誤作動を起こしたり、外付けUSB装置のファイルシステムが損傷し再びバックアップを試みたときバックアップができないというエラーメッセージが表示されることがあります。このエラーメッセージを表示させないためには、NVRを再起動する必要があります。USB HDDのファイルシステムが損傷していた場合は、NVRを再起動してバックアップを試みてもこのエラーメッセージは消えずに表示されます。この場合はHDDをもう一度フォーマットするか、復元プログラムを利用して損傷した外付けHDDのファイルシステムを修正しなければなりません。

印刷

現在の映像を印刷することができます。

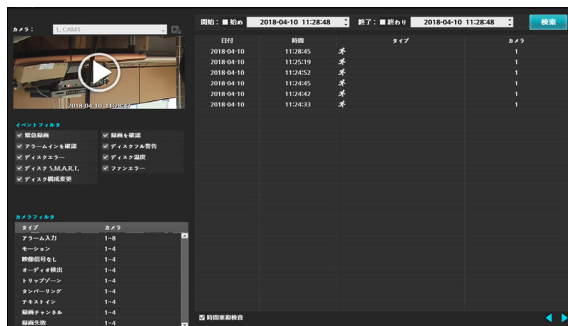
検索モードで**一時停止**ボタンを押して、再生を一時停止してください。検索メニューで**印刷**を選択すると、印刷設定ウィンドウが表示されます。




- **プリンターモデル名**
 - **ファイルプリンター**：現在の映像がUSB保存デバイス、またはNetFSサイトにPDFファイルで保存され、保存された映像はPCに接続されたプリンターで印刷することができます。
- **用紙サイズ**：プリントする用紙の大きさを選択します。
- **ファイル名**：保存するファイルの名前を指定します。

イベントログ検索

メニューで**検索モード** > **イベントログ検索**を選択すると、イベントログ検索ウィンドウが表示されます。



- 特定イベントを選択すると、映像が静止画の状態が表示されます。このとき、カメラの右側にある  ボタンを押すと、イベントをコピーすることができます。

- イベントログの検索ウィンドウの上にある**始め**や**終わり**の選択を解除し、検索する期間を直接変更することができます。

開始で始めを選択すると保存されたデータの中で、最初の時刻に設定され、終了で終わりを選択すると保存されたデータの中で最後の時刻に設定されます。

- **開始**または**終了**時間をユーザーが指定する場合には、**時間重複検査**を選択/解除することができます。

システム時間が変更されユーザーが指定した**開始**時間または**終了**時間が2つ以上ある場合、これらから1つを選ばなければなりません。選択した**開始**と**終了**時間帯に発生したイベントだけが検索されます。**時間重複検査**が選択されていない場合は、全ての**開始**と**終了**時間帯に発生したイベントを検索します。

- **緊急録画**、**録画エラー**、**アラーム入力エラー**、**ディスクフル警告**、**ディスクエラー**、**ディスク温度**、**ディスクS.M.A.R.T.**、**ファンエラー**、**ディスク構成変更**などのシステムイベントを検索するときイベントフィルターを選択して選定することができます。

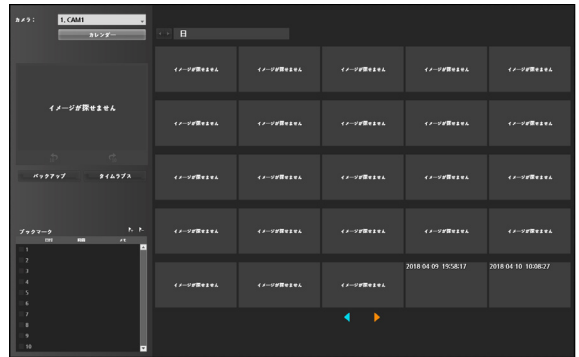
カメラフィルター

- **アラーム入力**：アラーム入力イベントを検索するアラーム入力チャンネルを選択します。
- **モーション**：モーション感知を検索するカメラチャンネルを選択します。
- **映像信号なし**：映像信号なしイベントを検索するカメラチャンネルを選択します。
- **オーディオ検出**：オーディオ検出イベントを検索するカメラチャンネルを選択します。
- **トリップゾーン**：トリップゾーンイベントを検索するチャンネルを選択します。
- **タンパーリング**：タンパーリングイベントを検索するチャンネルを選択します。
- **テキストイン**：テキストインイベントを検索するチャンネルを選択します。
- **録画チャンネル**：イベントを検索する録画チャンネルを選択します。
- **録画失敗**：録画失敗イベントを検索するチャンネルを選択します。
- **ファンエラー**：カメラのファン異常イベントを検索するチャンネルを選択します。
- **顔検出**：顔検出イベントを検索するチャンネルを選択します。

- ✓ 設定された録画チャンネルのうちで少なくとも1つの連動録画が発生したイベントだけを検索します。どのカメラも選択しなければ、連動録画カメラが1つもないイベントだけを検索します。

サムネイル検索

メニューで検索モード> **サムネイル検索**を選択すると、**サムネイル検索**ウィンドウが表示されます。

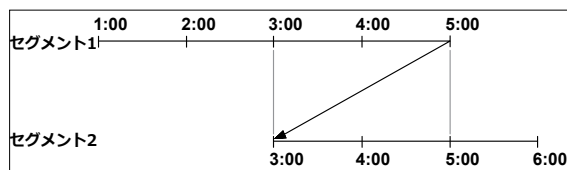


- 画面左側の **カレンダー** を選択すると、連動録画が行われたチャンネルで、検索したい日付の映像をカレンダー検索で探すことができます。録画された映像がある日付は黒色で表示され、選択された日付は青色で表示されます。
- カレンダーボタン右側の **▶** ボタンを選択し、日->時間->分->秒、または秒->分->時間->日の単位で精度が変更できます。
- 選択された日付と時間に該当する映像が静止画の状態が表示されます。画面中央にある再生ボタンで映像が再生でき、画面下段の **◀**、または **▶** ボタンを押して、10秒単位で映像を前後に移動することができます。
- **バックアップ** を選択するとバックアップの設定ウィンドウが表示され、開始と終了時刻をデータの最初と最後に設定したり自由に調節したりすることができます。
- **タイムラプス** を選択すると、タイムラプス検索モードに移動します。タイムラプス検索に対する詳しい内容は、**タイムラプス検索 ページ 83**をお読みください。
- **📌** アイコンを選択すると、現在の再生位置をブックマークに登録します。タイムラプス検索モードの画面右側のブックマーク設定ウィンドウで特定のブックマークを選択し、登録された再生位置に移動することができます。ブックマークリストを選択し、**📌** アイコンを選択してそのブックマークを削除することができます。

重複した時間の映像検索

ユーザーがシステム時間を過去に戻して録画した場合、同じ時間帯に1つ以上の録画映像が存在する時間重複現象が発生する可能性があります。この場合、重複した時間の録画映像は、セグメントを区分して検索する必要があります。

例えば1時から5時までの録画映像が存在する場合、システムユーザーがシステム時間を5時から3時に変更したあと6時まで録画すると、3時から5時までの録画映像が2つ存在することになります。このとき、3時から5時までの時間には2つのセグメントが発生します。

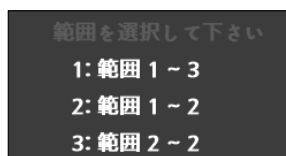


重複した時間の録画映像を検索するとき、特定の時刻または時間範囲を選択することができます。もし時間が重複した区間である3時から5時までの区間で**日時指定検索**などの検索メニューを利用し、ある特定の検索時間を指定する場合、例えば**4時**の録画映像を検索したいなら重複した2つのセグメントの中からどのセグメントの**4時**であるかを選択しなければなりません。



もし時間が重複した3時～5時の区間で**イベントログ検索**および**モーション検索**などの検索メニューを利用して検索時間範囲を指定する場合、例えば**4時～5時**の間の録画映像を検索したいなら重複する2つの検索開始と終了の時間の中から1つを選択しなければなりません。選択可能な検索範囲は下記のとおりです。

- セグメント1の4時～セグメント1の5時
- セグメント1の4時～セグメント2の5時
- セグメント2の4時～セグメント2の5時



第4章 – IDIS Web

IDIS Webはインターネット上でプログラムの設定なしに遠隔地の映像を監視・検索することのできるプログラムです。通常のウェブブラウザ(エクスプローラー)でいつでもどこでも接続することができます。

IDIS Webプログラムを実行するために必要なPCのシステム要求事項は下記のとおりです。

- OS: Microsoft® Windows® XP (Service Pack 3)、 Microsoft® Windows® Vista (Service Pack 1)、 Microsoft® Windows® 7 (Home Premium、 Professional、 Ultimate) or Microsoft® Windows® 8 (Pro、 Enterprise)
- CPU : Intel Pentium IV 2.4GHz以上(Core 2 Duo E4600推奨)
- RAM : 1GB以上
- VGA : 128MB以上(1280x1024、 24bpp以上)
- Internet Explorer : Ver.7.0以上(32-Bit)



- IDIS Webはマイクロソフトのインターネットエクスプローラー(Microsoft Internet Explorer)だけに対応し、その他のウェブブラウザには対応しません。
- IDIS WebはMicrosoft® Windows® 8のメトロ(Metro) UIでは作動しません。

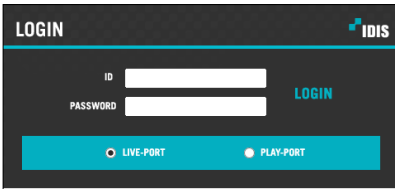
1 IE(インターネットエクスプローラー)を起動し、アドレスバーに下記の情報を入力してください。

- http://IPアドレス : ポート番号(NVRシステムIPアドレスおよびネットワーク一般設定で設定したIDIS Web接続ポート番号
(初期値 : 12088)入力)
- または、 http://fen.idisglobal.com/FENの名前(FENの名前 : FENサーバーに設定したNVRのデバイス名)
- または、 http://web.idisglobal.com (ログイン時のNVR IPアドレス、またはFENサーバーに登録されているFEN名)



接続したいNVRのIPアドレスおよびIDIS Webポート番号はネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 2 IDIS Webログインウィンドウが表示されたら、**LIVE-PORT**または**PLAY-PORT**を選択します。ログインに必要なIDおよびパスワードを入力し、**LOGIN**ボタンをクリックすると選択したモードに移行します。

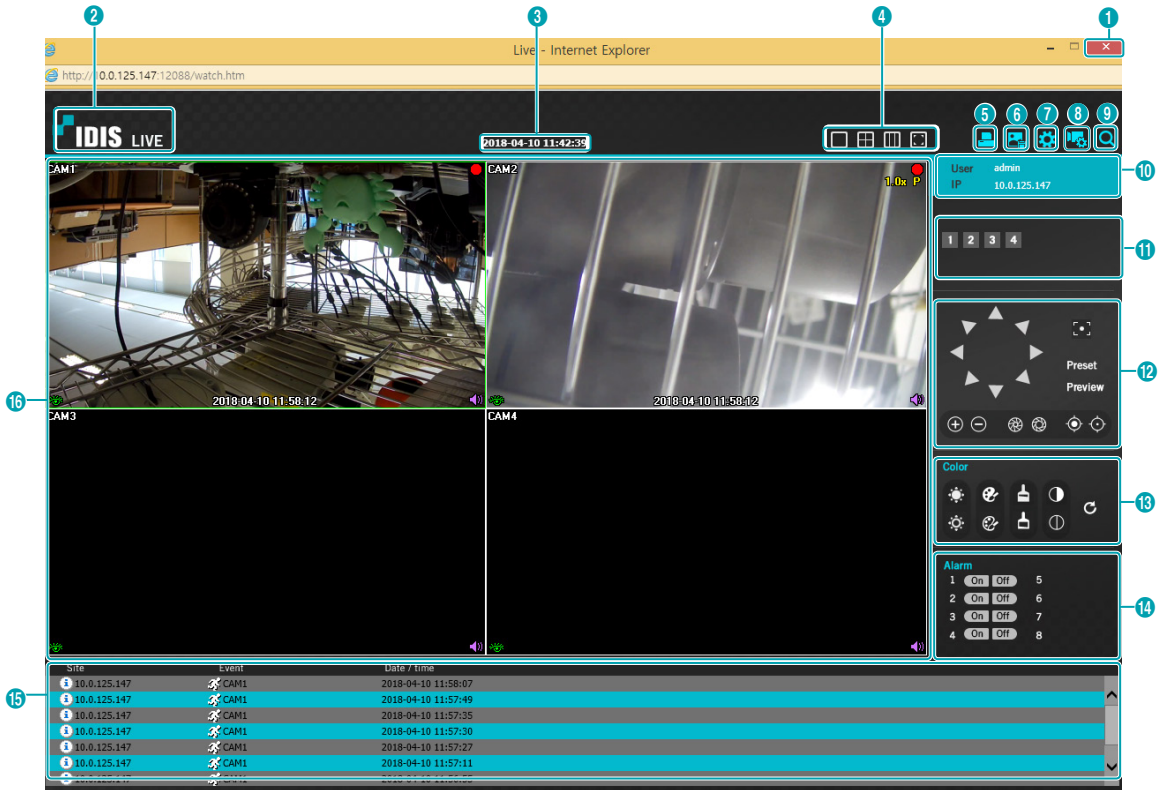


http://web.idisglobal.comを入力してアクセスする場合、DEVICE ADDRESSの項目にNVRのIPアドレスを入力します。ログインウィンドウでUse FENサービスオプションを選択すると、IPアドレスの代わりにFENサーバーに登録されているNVRの名前を入力することができます。なお、SETUP設定でFENサーバーのアドレスおよびポート番号の入力が要求されます。

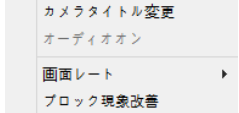











- IDIS Webプログラムの運用中にはログインウィンドウを閉じないでください。ウェブ監視モードまたはウェブ検索モードに切り替わるときスクリプトエラーが発生します。この場合はIDIS Webプログラムを再起動する必要があります。
- IDIS Webを実行するとき、アドレスバーまたはステータスバーが表示される場合、画面の下部が切れて表示されることがあります。この場合インターネット設定を変更し、アドレスバーまたはステータスバーを非表示にして実行することをお勧めします。(ツール→インターネットオプション→セキュリティ→レベルのカスタマイズ→ウェブサイトがアドレスバーやステータスバーのないウィンドウを開くのを許可するオプションを使用)に設定)
- Microsoft Windows Vista、またはその上位バージョンのOSでIDIS Webプログラムを起動する場合、IEを起動するときにIEアイコンをマウスの右クリックすると表示されるメニューから**管理者の権限で実行**オプションを選択してください。そうしなければ、IDIS Webプログラムの一部機能が制限されることがあります。
- 新規バージョンのIDIS Webを最初に行う場合、以前バージョンの情報を読み込むことがあります。この場合、**ツール→インターネットオプション→一般**タブに移動し、テンポラリインターネットファイルを削除してからもう一度IDIS Webを起動してください。
- Microsoft Windows Vista、またはその上位バージョンのOSで映像伝送速度低下によって画面が映らなかつたり、更新されなかつたりすることがあります。この場合、ご使用中のPCのオートチューニング機能の解除をお勧めします。管理者の権限でコマンドプロンプトを実行します。(スタート→アクセサリ→コマンドプロンプト→マウスの右ボタンをクリックし、**管理者の権限で実行**選択)**netsh int tcp set global autotuninglevel=disable**を入力したあとエンターキーを押します。PCを再起動し変更された設定を適用します。オートチューニング機能を復元するには、管理者の権限でコマンドプロンプトを実行したあと**netsh int tcp set global autotuninglevel=normal**を入力します。PCを再起動し変更された設定を適用します。

ウェブ監視モード

遠隔地の映像をリアルタイムで監視できる遠隔地ウェブ監視プログラムです。



①	を押してIDIS Webプログラムを終了します。
②	マウスポインタを IDISログの部分に当てると、IDIS Webのバージョンを確認することができます。
③	現在の時間情報を表示します。
④	画面モードを選択します。画面モードを変更する場合、現在のスクリーンで選択したカメラが変更されるレイアウトの1番目のセルに位置します。
⑤	を押して現在見ている映像をPCに接続されているプリンターで印刷します。
⑥	を押して現在みている映像を画像ファイルで保存します。
⑦	を押してドローイングモードおよびOSD表示を設定することができます。ドローイングモードを選択して映像を出力する速度を調節することができ、OSD表示リストから画面に表示されるOSD情報を選択することができます。
⑧	を押して、遠隔地のNVRイベント、カメラ、ストリーム設定などの設定ができます。
⑨	を押してウェブ検索モードに切り替えます。






⑩	ログイン情報を表示します。								
⑪	監視したいカメラを選択します。矢印ボタンを利用して以前のカメラグループまたは次のカメラグループに移動します。								
⑫	遠隔地のPTZカメラを制御します。								
⑬	監視映像の画質を調節します。								
⑭	遠隔地のアラーム出力装備を制御します。矢印ボタンを利用して以前のアラームグループまたは次のアラームグループに移動します。								
⑮	下段部のイベントステータスウィンドウは、遠隔地で感知されたイベントリストを表示します。								
⑯	<p>スクリーンからカメラを選択しマウスの右ボタンをクリックするとポップアップメニューが表示されます。</p>  <ul style="list-style-type: none"> カメラタイトル変更：カメラ名を変更することができます。 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> ウェブ監視モードで変更されたカメラ名は遠隔地システムには影響を与えず、カメラ名を入力しなければ遠隔地で設定したカメラ名が画面上に表示されません。 オーディオ有効化：遠隔地とのオーディオ送受信機能を提供します。項目を選択すると、オーディオ  ボタンが表示されます。 <table border="1" data-bbox="234 884 1273 1049"> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td>マイクで遠隔地へオーディオを伝送することができます。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td>スピーカーで遠隔地のオーディオを再生することができます。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td>遠隔地との双方向オーディオ送受信が可能です。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">×</td> <td>オーディオ送受信が無効化されます。</td> </tr> </table> <p><input checked="" type="checkbox"/> 接続した遠隔地がオーディオ送受信に対応する場合、カメラスクリーンに  アイコンが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 画面アスペクト比：画面上に表示される映像のアスペクト比を変更することができます。 <ul style="list-style-type: none"> - 画面に合わせる：カメラスクリーンのエリアに合わせて映像を出力します。 - アスペクト比に合わせる：オリジナル映像の縦横比でカメラスクリーンのエリアに合わせて映像を出力します。 - 半分の大きさ(x0.5)~4倍の大きさ(x4)：オリジナル映像の大きさを基準にメニューで指定した大きさとカメラスクリーンに映像を出力します。例えば実際の大きさ(x1)を選択すると、オリジナル映像の実際の大きさで出力します。半分の大きさ(x0.5)~4倍の大きさ(x4)メニューはカメラスクリーンに選択した大きさと映像を出力できるだけのエリアが確保された場合のみに活性化します。 ブロック現象除去：拡大映像で発生する階段化(ブロック)現象を除去し、画面上に表示される映像の出力品質を高めることができます。 		マイクで遠隔地へオーディオを伝送することができます。		スピーカーで遠隔地のオーディオを再生することができます。		遠隔地との双方向オーディオ送受信が可能です。	×	オーディオ送受信が無効化されます。
	マイクで遠隔地へオーディオを伝送することができます。								
	スピーカーで遠隔地のオーディオを再生することができます。								
	遠隔地との双方向オーディオ送受信が可能です。								
×	オーディオ送受信が無効化されます。								
























ウェブ検索モード

遠隔地の録画映像を検索できる遠隔地ウェブ検索プログラムです。

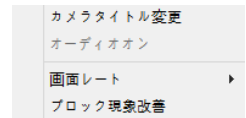
ウェブ検索スクリーンでの遠隔地へのアクセスは30分以上操作がなければ自動的に解除されます。



①	 を押してIDIS Webプログラムを終了します。
②	マウスポインタを  IDIS ログの部分に当てると、IDIS Webのバージョンを確認することができます。
③	遠隔地NVRの録画映像の時間情報を表示します。
④	画面モードを選択します。
⑤	 を押して現在見ている映像をPCに接続されているプリンターで印刷します。
⑥	 を押して録画映像を実行ファイルとして保存します。
⑦	 を押して現在みている映像を画像ファイルで保存します。

8	<p> を押してドローイングモードおよびOSD表示を設定することができます。ドローイングモードを選択して映像を出力する速度を調節することができ、OSD表示リストから画面に表示されるOSD情報を選択することができます。</p>																
9	<p> を押して、ウェブ監視モードに切り替えます。</p>																
10	<p>ログイン情報を表示します。</p>																
11	<p>検索したいカメラを選択します。矢印ボタンを利用して以前のカメラグループまたは次のカメラグループに移動します。</p>																
12	<p>映像を縮小・拡大します。</p>																
13	<p>映像の明るさを調節します。</p>																
14	<p>映像に様々なイメージフィルターを適用します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 映像調整は一時停止の状態のみで適用されます。</p>																
15	<p>特定の日付の映像をカレンダー検索で探すことができます。</p> <p>録画された映像がある日付は水色で表示されます。日付を選択すると、その日付のもっとも早い時間に録画された映像が静止画の状態で表示されます。選択された日付はオレンジ色で表示されます。</p>																
16	<p>TimeLapse を選択するとタイムラプス検索モードを利用し、録画映像を時間順に従って検索・再生します。タイムラプス検索モードでの検索は日付の単位で行われ、カレンダーで検索する日付を選択することができます。画面下のタイムテーブルではカレンダーで選択した日付の録画映像の時間情報を表示します。時間を選択すると、その時間帯の映像を画面に表示します。選択した時間帯に1つ以上の映像がある場合、セグメントを選択することができます。</p>																
17	<p>Event を選択するとイベント検索モードになり、ユーザーが指定する特定な条件に満足するイベントを検索することができます。</p>																
18	<p>再生ボタンを押して指定した状態で映像を再生することができます。</p> <table border="1" data-bbox="208 1251 1163 1420"> <tr> <td></td> <td>映像の先頭に移動</td> <td></td> <td>1コマずつ再生</td> </tr> <tr> <td></td> <td>映像を高速逆再生</td> <td></td> <td>高速再生</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1コマずつ逆再生</td> <td></td> <td>映像の最後に移動</td> </tr> <tr> <td></td> <td>通常再生・一時停止</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		映像の先頭に移動		1コマずつ再生		映像を高速逆再生		高速再生		1コマずつ逆再生		映像の最後に移動		通常再生・一時停止		
	映像の先頭に移動		1コマずつ再生														
	映像を高速逆再生		高速再生														
	1コマずつ逆再生		映像の最後に移動														
	通常再生・一時停止																
19	<p>Goto を押して検索する、特定の時間帯の映像にすぐ移動することができます。</p>																
20	<p>Reload を押して遠隔地の最新録画映像を再び読み込みます。</p>																
21	<p>選択したカメラの録画情報を時間単位で表示します。カメラのシステム時間が過去に変更され同一の時間帯に1つ以上の映像が存在する場合、タイムテーブルの右上のセグメントメニューでどのビデオセグメントを検索するか指定することができます。</p>																

スクリーンからカメラを選択しマウスの右ボタンをクリックするとポップアップメニューが表示されます。



- **カメラタイトル変更**：カメラ名を変更することができます。



ウェブ検索モードで変更されたカメラ名は遠隔地システムには影響を与えず、カメラ名を入力しなければ遠隔地で設定したカメラ名が画面上に表示されません。

- **オーディオ有効化**：映像が録画される時オーディオも一緒に録音されている場合、再生するときオーディオと一緒に出力されます（単一画面再生時に限る）。
- **画面アスペクト比**：画面上に表示される映像のアスペクト比を変更することができます。
- **ブロック現象除去**：拡大映像で発生する階段化(ブロック)現象を除去し、画面上に表示される映像の出力品質を高めることができます。

